

**PhotoCreator**  
フォトクリエーター Ver.1.5 Create a fine Digital Photography for Windows

## 操作説明書

このたびは、Photo Creator をお買い求めいただき、  
まことにありがとうございます。

Photo Creator は、デジタルカメラで撮影した写真などに、  
修正や加工を行なうことができる画像編集ソフトウェア  
です。

本書では、基本操作を含め、全体の操作の流れを記載して  
います。各機能の詳細につきましては、オンラインヘルプ  
をあわせてご覧いただけますようお願い申し上げます。

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

なお、本書には ™ および ® マークは明記していません。

※本書では「Microsoft Windows Vista」のことを「Windows Vista」または「Windows」「Vista」と記述しています。また本文中で使用される用語は、基本的に画面上で表示される名称に従っています。

※本書は、Windows Vista がインストールされているパソコンを前提に画面を再現しています。

※その他、本書に掲載した会社名、プログラム名、システム名、CPU 名などは一般的に各社の登録商標、または商標です。

※使用している画面やプログラムの内容は、各メーカーの仕様により一部異なる場合があります。各パソコン固有の機能についてはパソコンに付属している取扱説明書をご覧ください。

# 目次

---

## 第1章 《基本編》

### Photo Creator をはじめよう 7

---

Photo Creator のインストール	8
Photo Creator のアンインストール	11
動作条件	12
ユーザーサポートについて	13
Photo Creator の起動	14
Photo Creator の終了	15
Photo Creator の画面構成	16
デジタル写真を開く	19
デジタル写真を取り込む	21
ファイルを保存する	24

## 第2章 《修正・加工編》

### Photo Creator を使ってみよう 27

---

画像の色を補正する	28
一部分だけの修正にペンモードを使う	31
不要な部分を消す	33
合成写真を作成する	35

## 第3章 《機能編》

### Photo Creator のツールと機能 41

---

ツールバー	42
オプションバー	43
セクションの共通ツール	44
セクションの領域ツール	47
暗室セクション	51
修正セクション	56
効果セクション	64
ペイントセクション	68

カラーパネル	75
ブラシパネル	79
レイヤーパネル	81
Exif 情報パネル	86
ファイルメニュー	87
編集メニュー	96
領域メニュー	100
レイヤーメニュー	101
画像メニュー	102
表示メニュー	106
ウインドウメニュー	108
ヘルプメニュー	110

# マウスの操作

本書に記載している主なマウスの操作方法です。

マウス ポインタ	マウスの動きに合わせて画面上を移動する矢印のこと。本ソフトでは状況によってマウスポインタの形が変わります。
クリック	マウスポインタを目的の位置に合わせて、マウスの左ボタンを1回カチッと押すこと。
ダブル クリック	マウスポインタを目的の位置に合わせて、マウスの左ボタンを2回カチカチッと押すこと。
右クリック	マウスポインタを目的の位置に合わせて、マウスの右ボタンを1回カチッと押すこと。
ドラッグ	マウスポインタをファイルやウインドウ枠に合わせて、マウスの左ボタンを押したままマウスを動かすこと。
右ドラッグ	マウスポインタを目的の位置に合わせて、マウスの右ボタンを押したままマウスを動かすこと。
ドラッグ& ドロップ	対象となるアイコンなどをドラッグして、別の場所でマウスのボタンを離すこと。

---

**第1章**  
**《基本編》**

---

**Photo Creator を**  
**はじめよう**

# Photo Creator の インストール

Photo CreatorのCD-ROMを使って、パソコンにPhoto Creatorをインストールします。インストールは、インストーラの画面に従って操作します。

インストールを行なう前に、他のアプリケーションが起動している場合は、終了させてください。Windows 2000、Windows XPをお使いの場合は、コンピュータの管理者の権限のあるユーザー名でログインしてからインストール作業を行なってください。インストール後は、どのユーザーでログインしてもPhoto Creatorをご利用いただけます。

- 1 パソコンのCD-ROM（またはDVD-ROM）ドライブにPhoto CreatorのCD-ROMをセットします。ドライブがCD-ROMを読み込むと、自動再生します。



※自動再生の画面が表示されない場合、[スタート] から [コンピュータ] をクリックしてドライブを表示します。Photo CreatorのCD-ROM内にある [setup.exe] をダブルクリックしてください。

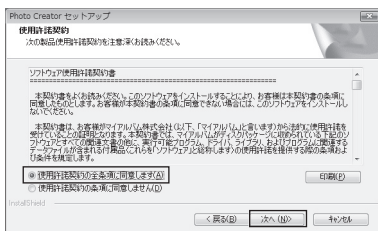


- 2 [Photo Creator セットアップへようこそ] の画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックします。

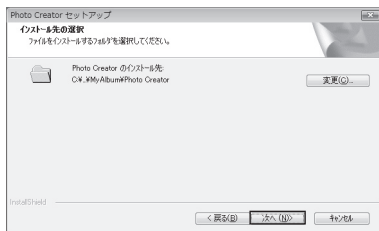


Windows Vista をご利用の場合、インストールまたはアンインストール中に、[ユーザーアカウント制御] の画面が表示されることがあります。[続行] ボタンをクリックして作業を続けてください。

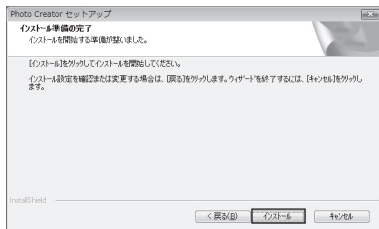
- 3 [ソフトウェア使用許諾契約書] が表示されたら、内容をよくお読みください。使用許諾契約書に同意される場合は [使用許諾契約の全条項に同意します] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックします。



- 4 [インストール先の確認] の画面が表示されます。[次へ] ボタンをクリックしてください。

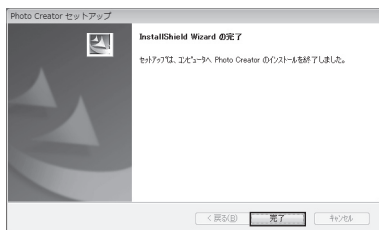


- 5 [インストール準備の完了] の画面が表示されます。[インストール] ボタンをクリックします。



インストールが開始されますので、しばらくそのままお待ちください。

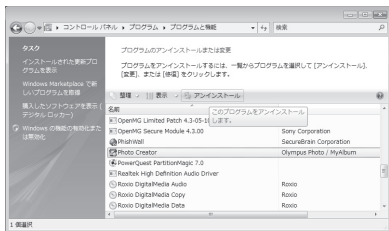
- 6 インストールが終了すると、[セットアップの終了] の画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックします。



# Photo Creator の アンインストール

Photo Creator をパソコンから削除します。

- 1 [スタート] から [コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [プログラムのアンインストール] または [プログラムと機能] をダブルクリックします。
- 3 インストールされているプログラムの一覧から [Photo Creator] をクリックして、[アンインストール] ボタンをクリックします。



- 4 [ファイル削除の確認] の画面が表示されるので [OK] ボタンをクリックします。



- 5 アンインストールが完了すると [アンインストールの完了] の画面が表示されます。[完了] ボタンをクリックして終了します。

# 動作条件

OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
CPU	Pentium III または Pentium III 完全互換プロセッサ 500MHz 以上推奨
メモリ	256MB 以上
ハードディスクの 空容量	200MB 以上
ディスプレイ アダプタ	800 × 600 ピクセル以上の解像度でハイカラー（16bit） 以上表示可能なもの
デジタルカメラ	記録メディアがドライブとして使用可能なもの TWAIN または WIA インターフェイスに対応しているもの
プリンタ	使用する OS でサポートされている各社プリンタ
タブレット	WinTAB 規格準拠のもの タブレットが接続されている場合、筆圧に対応したデリ ケートな描画がおこなえます

# ユーザーサポートについて

本書やヘルプファイルを読んでも解決できないトラブルが発生した場合には、[フォトクリエーター FAQ] のホームページをご覧ください。[フォトクリエーター FAQ] で問題が解決しない場合、またはインターネットをご利用でない方は、マイアルバム株式会社・サポートセンターまで、電話またはホームページからお問い合わせください。

## フォトクリエーター FAQ

<http://www.myalbum.co.jp/support/support2.shtml>

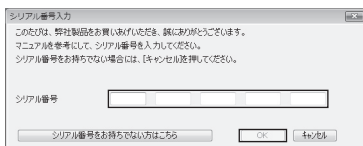
## マイアルバム株式会社・サポートセンター

お問い合わせ URL : <http://www.myalbum.co.jp/contact/index.shtml>

- ※ホームページからのお問い合わせの際には、ご連絡先や質問事項、ご利用機器の構成（OS やパソコンの機種名、メモリ、空き容量など）をできるだけ詳しくご記載ください。
- ※トラブルの状況によっては、調査のためのお時間を頂戴することがあります。あらかじめご了承ください。
- ※ Windows の使い方やパソコン固有の問題、デジタルカメラやプリンタなどの周辺機器の問題に関しては、各ユーザーサポートへお問い合わせください。

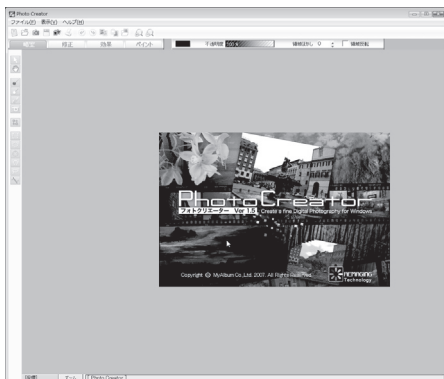
# Photo Creator の起動

- 1 [スタート] をクリックします。
- 2 [すべてのプログラム] にマウスポインタを合わせます。
- 3 [MyAlbum] にマウスポインタを合わせてクリックします。[Photo Creator] にマウスポインタを合わせてクリックします。  
[Photo Creator] をクリックします。
- 4 インストール後、初めて Photo Creator を起動すると、シリアル番号の入力を求める画面が表示されます。シリアル番号を入力して [OK] ボタンをクリックしてください。



20桁のシリアル番号が記載されたシールはパッケージ内に添付されています。

- 5 [Photo Creator] の起動画面が表示されます。



# Photo Creator の終了

- 1 Photo Creator の画面右上の [閉じる] ボタンをクリックします。
- 2 Photo Creator が終了します。



## ■ その他プログラムの終了方法

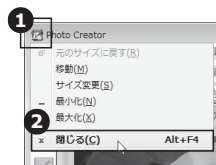
### メニューバーから終了

- 1 [ファイル] をクリックします。
- 2 [終了] をクリックします。

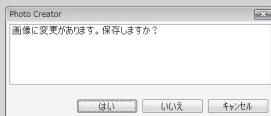


### タイトルバーから終了

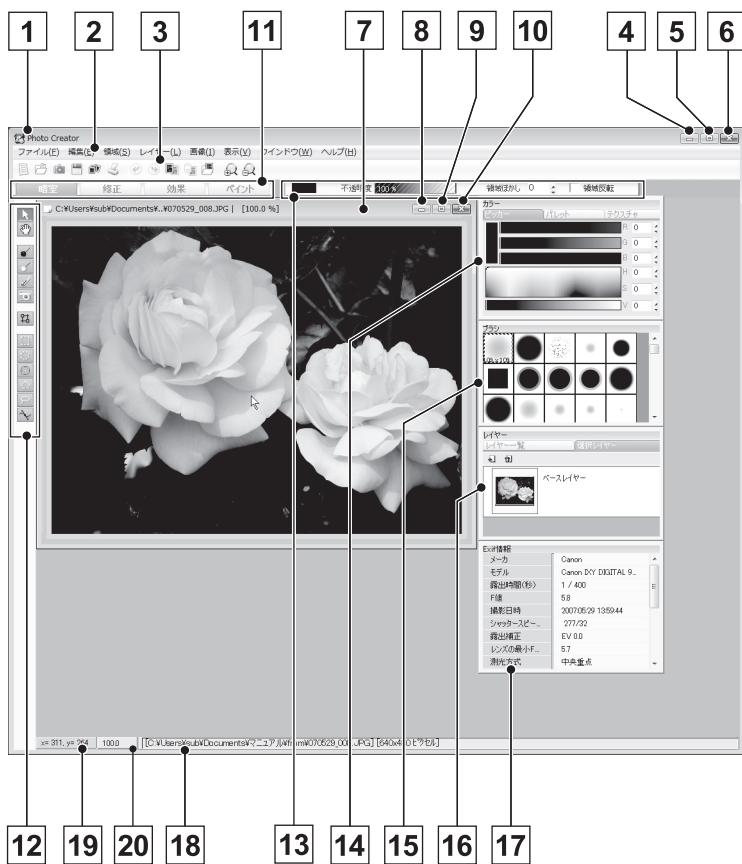
- 1 アイコンをクリックします。
- 2 [閉じる] をクリックします。



**!** Photo Creator を終了しようとするとき、右の画面が表示される場合があります。保存する場合は [はい] ボタン、保存しないで終了する場合は [いいえ] ボタン、終了をやめて作業を続ける場合は [キャンセル] ボタンをクリックします。



# Photo Creator の画面構成





- 1 **タイトルバー**  
ソフトの名前 (Photo Creator) が表示されます。
- 2 **メニューバー**  
機能の内容ごとに [ファイル] から [ヘルプ] まで、8つの項目に分かれています。クリックすると、それぞれの機能一覧が表示されます。
- 3 **ツールバー**  
メニューバーの中からよく使われる機能がアイコンで表示されています。メニューバーからよりもすばやく機能を実行することができます。
- 4 **Photo Creator の [最小化] ボタン**  
Photo Creator の画面が消え、タスクバーにのみ表示されます。Photo Creator そのものは終了しません。
- 5 **Photo Creator の [最大化 / 元に戻す] ボタン**  
Photo Creator の画面を、パソコンの画面全体に表示する / 元に戻すことができます。
- 6 **Photo Creator の [閉じる] ボタン**  
Photo Creator を終了します。
- 7 **画像のタイトルバー**  
画像のファイル名、表示倍率が表示されます。
- 8 **画像の [最小化] ボタン**  
画像の画面が消え、Photo Creator の画面左下にタイトルバーのみが表示されます。
- 9 **画像の [最大化 / 元に戻す] ボタン**  
Photo Creator 全体に表示されている画像の画面を、PhotoCreator の画面いっぱいに表示する / 元の大きさに戻すことができます。
- 10 **画像の [閉じる] ボタン**  
画像を閉じるときに使います。画像を閉じて、Photo Creator そのものは終了しません。

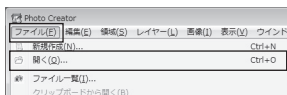
- 11 セクションタブ**  
機能の内容ごとに [暗室]、[修正]、[効果]、[ペイント] の4つのタブに分かれています。クリックすると、それぞれの機能一覧がセクションメニューに表示されます。
- 12 セクションメニュー**  
セクションタブで選択したセクションで使用できる機能がアイコンで表示されます。
- 13 オプションバー**  
[描画色]、[不透明度]、[領域ぼかし]、[領域反転] という補助的な役割を果たすパネルです。
- 14 カラーパネル**  
[ペイント] セクションで描画するとき使用する色を選択するパネルです。
- 15 ブラシパネル**  
[ペイント] セクションで描画するときや [エフェクト] などの [ペンモード] を使用するとき、ブラシのサイズや形状を選択するパネルです。
- 16 レイヤーパネル**  
画像のレイヤー情報を表示するパネルです。
- 17 Exif 情報パネル**  
デジタルカメラで撮影した画像に埋め込まれている、Exif (イグジフ) 情報を表示します。
- 18 ステータスバー**  
画像のファイル名や大きさ、選択した領域の座標や大きさを表示します。作業の状況によって、表示される項目が変わります。
- 19 座標ボタン**  
マウスポインタのある位置を表示します。クリックすると表示 / 非表示を切り替えます。
- 20 ズームボタン**  
画像の表示倍率を表示します。クリックすると表示倍率を変更できます。[編集] をクリックすると、表示倍率のリストを編集することができます。

# デジタル写真を開く

起動した直後の Photo Creator は、メニューの一部が表示されません。はじめに、パソコンのハードディスクに保存したデジタル写真を開いてみましょう。すべてのメニューが表示されるようになります。

## ■ ファイルを指定して開く

- 1 メニューバーの [ファイル] をクリックして、[開く] にマウスポインタを合わせてクリックします。

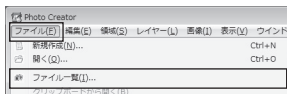


- 2 [ファイルを開く] の画面が表示されます。[ファイルの場所] のリストボタンをクリックして画像のある開きたい画像のアイコンをクリックして、[開く] ボタンをクリックします。

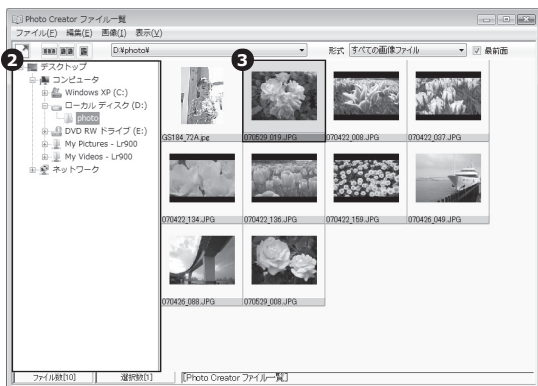


## ■ ファイル一覧から開く

- 1 メニューバーの [ファイル] をクリックして、[ファイル一覧] にマウスポインタを合わせてクリックします。



- 2 [Photo Creator ファイル一覧] の画面が表示されます。左に表示されたフォルダツリーから画像のあるフォルダをクリックします。
- 3 開きたい画像のサムネイル (縮小画像) をダブルクリックします。



# デジタル写真を取り込む

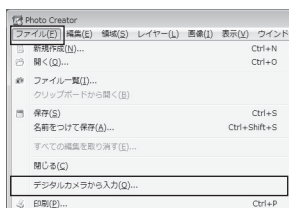
デジタルカメラやスキャナーなどの外部機器から、パソコンへデジタル写真を取り込んでみましょう。この操作を行なう前に、外部機器とパソコンが接続されている必要があります。

## ■ USB ケーブルでつないだデジタルカメラから写真を取り込む



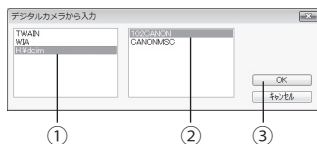
Adobe RGB が撮影時に選択できるカメラで、Adobe RGB 対応で撮影された写真を取り込むと、若干、色が異なる場合があります。

- 1 メニューバーの [ファイル] から [デジタルカメラから入力] をクリックします。

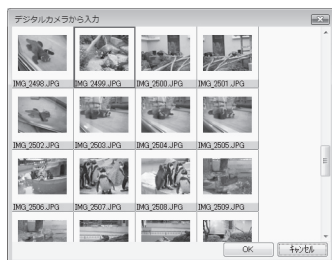


- 2 [デジタルカメラから入力] の画面が表示されます。デジタルカメラが接続できていない場合、左のリストに [H:¥dcim] が表示されません。『H』には接続したデジタルカメラのリムーバブルドライブ名が表示されます。

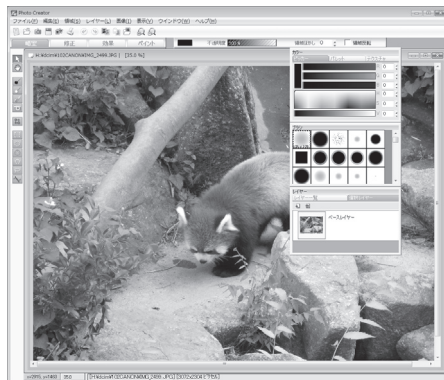
- 3 左のリストから [H:\dcim] をクリックします。右のリストに表示されたデジタル写真のあるフォルダをクリックします。なお、フォルダ名はお使いのデジタルカメラのメーカーによって異なります。[OK] ボタンをクリックします。



- 4 デジタル写真の一覧が表示されます。取り込みたい写真を選択して、[OK] ボタンをクリックします。



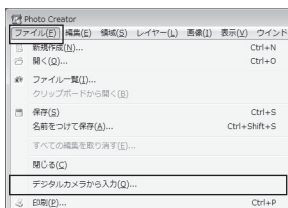
- 5 Photo Creator へ写真が読み込まれました。



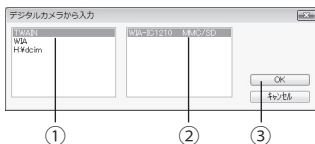
## ■ TWAIN / WIA に対応した入力用周辺機器から画像を取り込む

TWAIN / WIA に対応したデジタルカメラやスキャナーなどの入力用周辺機器から画像を取り込みます。WIA 規格は Windows XP と、Windows Vista でサポートされています。使用するには各入力用周辺機器に対応したドライバが必要になります。

- 1 メニューバーの [ファイル] から [デジタルカメラから入力] をクリックします。



- 2 [デジタルカメラから入力] の画面が表示されます。左のリストから [TWAIN] または [WIA] をクリックします。右のリストに、すでにインストールしてある TWAIN または WIA 対応の入力用周辺機器の一覧が表示されます。お使いになりたい入力用周辺機器をクリックして [OK] ボタンをクリックします。



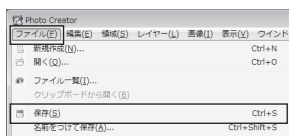
- 3 画像を取り込むためのソフトが起動します。ここで起動したソフトは入力用周辺機器によって異なります。お使いの入力用周辺機器のマニュアルをご覧ください。

# ファイルを保存する

Photo Creator で編集したデジタル写真を保存します。メニューバーの [ファイル] から [保存] または [名前をつけて保存] をクリックします。

## 上書き保存する

メニューバーの [ファイル] から [保存] をクリックします。元のファイルを上書き保存するときに、警告画面の表示はありません。ご注意ください。新規作成などで初めて編集ウィンドウを保存する場合は、[名前をつけて保存] の画面が表示されます。



※ツールバーの [保存] ボタンをクリックしても上書き保存できます。

## 名前をつけて保存する

オリジナルのデジタル写真は上書き保存しないように、別の名前をつけて保存するクセをつけておくことをおすすめします。そうしておくことで、修正を間違っても、いつでも元の写真に戻すことができます。

- 1 メニューバーの [ファイル] から [名前をつけて保存] をクリックします。





- ② [名前をつけて保存] の画面が表示されます。保存先のフォルダを指定して、ファイル名を入力します。ファイルの種類をメニューをクリックして選択して、[保存] ボタンをクリックします。

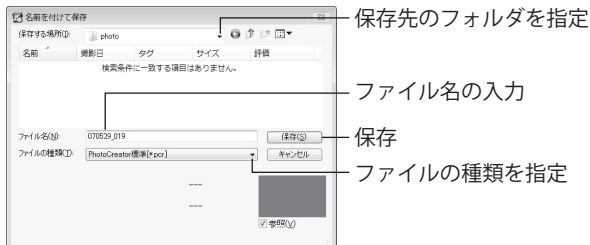
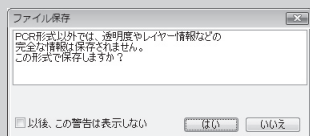


Photo Creator で引き続き編集したい場合や、透明度やレイヤー情報なども保存したい場合は、必ず、Photo Creator の標準形式 [\*.pcr] で保存してください。

[\*.pcr] 以外のファイル形式を選ぶと、レイヤー情報などは破棄され、表示されている編集ウインドウの状態で保存します。



標準形式 [\*.pcr] 以外で保存しようとするすると、警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、[以後、この警告は表示しない] にチェックを入れます。操作に慣れないうちはチェックを入れないほうが良いでしょう。



# 第1章

PhotoCreatorをはじめよう

---

## 第2章 《修正・加工編》

---

# Photo Creator を 使ってみよう

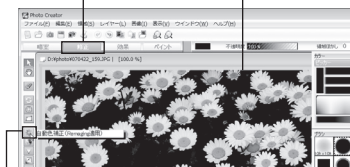
# 画像の色を補正する

## ■ [自動色補正] を使って補正する

REIMAGING 機能は、Photo Creator 独自の自動色調補正エンジンです。デジタル写真を、自然で色彩豊かな色合いに修正します。

- 1** デジタル写真を Photo Creator で開きます。  
Photo Creator では、画面に収まらない大きさの写真を自動的に縮小して、全体を表示します。
- 2** メニューバーの [ファイル] から [名前をつけて保存] (P.91) をクリックします。元のデジタル写真を上書き保存しないように、別の名前をつけて保存します。
- 3** セクションタブの [修正] をクリックします。セクションメニューの [自動色補正] (P.59) をクリックします。

① [修正] をクリック      画像全体が表示されます



② [自動色補正] をクリック

補正前の画像



補正後の画像



## ■ [色調補正] で好みにあわせて補正する

- 1 デジタル写真を Photo Creator で開きます。
- 2 メニューバーの [ファイル] から [名前をつけて保存] (P.91) をクリックします。元のデジタル写真を上書き保存しないように、別の名前をつけて保存します。
- 3 セクションタブの [修正] をクリックして、セクションメニューの [色調補正] (P.60) をクリックします。

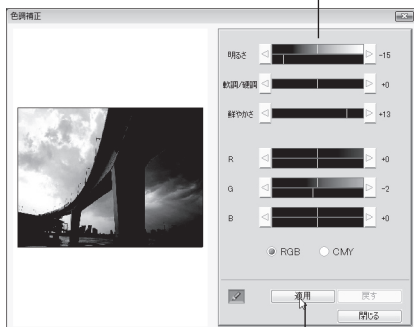
① [修正] をクリック



② [色調補正] をクリック

- 4 [色調補正] の画面が表示されます。左のプレビュー画面を見ながら、修正したいコントロールバーを左右のボタンをクリックして調整します。

① 補正したい項目のコントロールバーを調節



② [適用] をクリック

**明るくしたい**

[明るさ] のコントロールバーを [+] に動かします。

**ハッキリとさせたい**

[軟調/硬調] のコントロールバーを [+] に動かします。

**色鮮やかにしたい**

[鮮やかさ] のコントロールバーを [+] に動かします。

**色ずれを修正したい**

緑 (G) 青 (B) 赤 (R) なら [RGB] を、シアン (C) マゼンダ (M) イエロー (Y) なら [CMY] をクリックします。修正したい色のコントロールバーを [+] または [-] へ動かします。

- 5** [適用] ボタンをクリックして、デジカメ写真に適用します。[閉じる] ボタンをクリックして [色調補正] の画面を閉じます。

・色調補正で [明るさ] を下げ、[鮮やかさ] を上げた例

補正前の画像



補正後の画像

**補正のコツ**

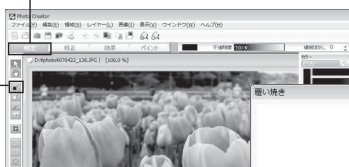
写真を撮影したときや、写真の完成図をイメージしながら補正すると、どの項目を調整したらいいか悩まずに作業できます。

# 一部分だけの修正に ペンモードを使う

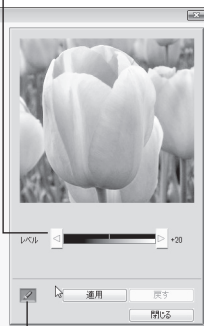
覆い焼きや焼き込みなど、ほとんどのツールには「ペンモード」があります。ブラシでなぞった部分にだけ、その効果を適用します。今回は「覆い焼き」を例に「ペンモード」の使い方を紹介します。

- 1 デジタル写真を Photo Creator で開きます。メニューバーの「ファイル」から「名前をつけて保存」をクリックします。元のデジタル写真を上書き保存しないように、別の名前をつけて保存します。
- 2 セクションタブの「暗室」をクリックし、セクションメニューの「覆い焼き」(P.52)をクリックします。効果の度合いをコントロールバーで調節し、「ペンモード」をクリックします。「ブラシパネル」(P.79)でブラシを選択します。ボケあしの大きいブラシでなぞると自然に修正することができます。

①「暗室」をクリック



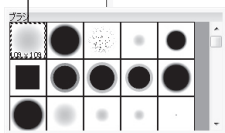
③プレビューで確認しながら  
コントロールバーを調節



②「覆い焼き」をクリック



⑤ブラシをクリック



④「ペンモード」をクリック

- 3 編集ウインドウにブラシのガイドが表示されます。効果をつけたい部分をクリック、またはドラッグします。マウスの右ボタンを押しながらドラッグすると、元に戻すことができます。

① ブラシガイドが表示



② 修正したい部分に  
クリックまたはドラッグ



そのほか下記の機能でペンモードが利用できます

[暗室] セクション

覆い焼き ..... P. 52  
焼き込み ..... P. 53  
色温度 ..... P. 53  
カメラ効果 ..... P. 54

[効果] セクション

エフェクト ..... P. 65

[修正] セクション

色調補正 ..... P. 60  
フォーカス ..... P. 61  
トーンカーブ ..... P. 62

[画像] メニュー

ヒストグラム ..... P. 104



# 不要な部分を消す

デジタルだから不要な部分を消すのも手軽にできます。

## ■ トリミング

- 1 セクションタブの [暗室] をクリックし、セクションメニューの [トリミング] (P. 55) をクリックします。

① [暗室] をクリック



② [トリミング] をクリック

- 2 トリミング枠のポイントをドラッグして任意の大きさや位置に移動します。 [トリミング] をクリックして実行します。

枠内でドラッグして  
位置を調整

ポイントをドラッグして  
サイズを調整

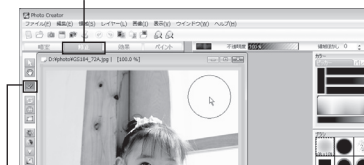


- 3 トリミング後の画像は新しい編集ウィンドウとして開きます。

## ■ クローンブラシ

- 1 セクションタブの [修正] をクリックし、セクションメニューの [クローンブラシ] (P.57) をクリックします。

① [修正] をクリック



② [クローンブラシ] をクリック

- 2 編集ウィンドウにブラシガイドが表示されます。コピーの基準点を決め、ブラシパレットでブラシを選択します。広い部分は大きめのブラシで、細かい部分は小さめのブラシを使うと自然に修正することができます。



# 合成写真を作成する

Photo Creator を使って、合成写真を作成します。ここでは『Step 1：合成したい人物を領域選択する』、『Step 2：2つの画像を合成する』、『Step 3：ゴミを消してきれいに仕上げる』の3段階に分けて説明します。

## ■ Step 1：合成したい人物を領域選択する

- 1 メニューバーの [ファイル] から [開く] (P. 88) をクリックして、2枚のデジタル写真を開きます。今回は人物と背景の写真を選びました。

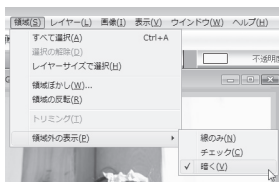
①人物の写真



②背景となる写真



- 2 メニューバーの [領域] から [領域外の表示] (P. 100) にマウスポインタをあわせて [暗く] をクリックします。



- 3 人物の写真のタイトルバーをクリックします。[オプションバー]の[領域ぼかし] (P.43) を [1] にします。



- 4 セクションタブの[効果]をクリックして、セクションメニューの[領域マジックワンド] (P.49) をクリックします。

①[効果] をクリック



②[マジックワンド] をクリック

- 5 切り抜きたい人物の境目をクリックして境目にそってマウスを動かすと、自動的に色の境目を感知して囲んでいきます。終了するときは、右クリックをします。



※領域のポイントが人物との境目にできない場合は、クリックすると手動でポイントを追加することができます。

## ■ Step 2 : 2つの画像を合成する

- 1 背景写真のタイトルバーをクリックします。セクションメニューの「画像の合成」(P.66)をクリックします。

①背景のタイトルバーをクリック



②「画像の合成」をクリック

- 2 Photo Creator では、2つの写真が開かれている場合、もう片方の写真が自動的に選ばれます。「OK」ボタンをクリックします。



- 3 背景写真の上に、「領域マジックワンド」で囲んだ人物の写真が貼り付けられました。



## ■ Step 3 : ゴミを消してきれいに仕上げる

- 1 [レイヤーパネル] の [レイヤー一覧] (P. 81) をクリックします。人物のレイヤーをクリックします。



- 2 人物の周りにゴミが残っているので、セクションタブの [ペイント] をクリックし、セクションメニューの [ケシゴム] (P. 70) をクリックします。

① [ペイント] をクリック



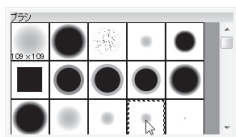
② [ケシゴム] をクリック

- 3 細かい部分を修正しやすいように、表示を拡大します。ツールの [ズームイン] (P. 107) を、作業しやすい倍率まで何回かクリックします。

[ズームイン] をクリック



- 4 [ブラシパネル] (P. 79) からボケあしの大きいブラシをクリックします。



- 5 人物の周りに残ったゴミをドラッグして消していきます。消しすぎたら、マウスの右ボタンを押しながらドラッグすると元に戻ります。



人物の周りのゴミを  
ドラッグして消していく

※タブレットがあると、筆圧に応じて消し具合や、ケシゴムの大きさが変わるので、細かい修正ができます。

### ? タブレットとは

マウスと同じ入力装置の一種です。ペン型の装置と座標を感知する板状の装置の組み合わせになっています。

Photo Creator では、表示メニューの [タブレット設定] (P. 106) から設定ができます。不透明度または効果の度合い、密度、ブラシサイズが筆圧によって変化するので、細かい作業に適しています。

- 6 時々、ツールバーの「ズームアウト」(P.107)をクリックして、全体を見て、不自然な部分がないか確認します。

「ズームアウト」をクリック



- 7 合成写真の完成です。





---

## 第3章 《機能編》

---

# Photo Creator の ツールと機能

# ツールバー

メニューバーの中からよく使われる機能がアイコンで表示されています。メニューバーからよりもすばやく機能を実行することができます。



- |                       |                   |
|-----------------------|-------------------|
| ① 新規作成 (P. 87)        | ⑦ 元に戻す (P. 96)    |
| ② 開く (P. 88)          | ⑧ やりなおす (P. 96)   |
| ③ デジタルカメラから入力 (P. 92) | ⑨ コピー (P. 96)     |
| ④ 保存 (P. 91)          | ⑩ 貼り付け (P. 97)    |
| ⑤ ファイル一覧 (P. 90)      | ⑪ 素材フォルダ (P. 99)  |
| ⑥ 印刷 (P. 92)          | ⑫ ズームイン (P. 107)  |
|                       | ⑬ ズームアウト (P. 107) |

# オプションバー

補助的な役割を果たします。



## ① 描画色

選択中の色を表示します。テキストチャの場合は一部が表示されません。

## ② 不透明度

画像に与える効果の度合いを設定します。0%に設定すると、画像に与える効果が全くなくなります。不透明度は、[効果] セクションの [エフェクト] (P. 65) や [ペイント] セクションの [ケシゴム] (P. 70) など、全ての画像編集に対して有効になります。不透明度を変更した場合は、注意してください。

## ③ 領域ぼかし

選択中の領域の境目に半透明な部分を入れてぼかします。ぼかしの度合いは、[0～20]で設定します。領域ぼかしを設定した場合に、[コピー] (P. 96) や [トリミング] (P. 55) を実行すると、画像のフチをぼかして貼り付けたり、切り抜くことができます。また同様に、[カメラ効果] (P. 54) や [エフェクト] (P. 65) を実行すると、領域の境目をぼかして効果を与えることができます。

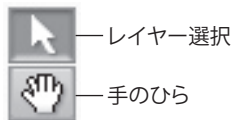
## ④ 領域反転

チェックを入れると、選択中の領域内と領域外を入れ替えます。

# セクションの共通ツール

[暗室]、[修正]、[効果]、[ペイント] の各セクションで共通するツールを紹介します。

## 共通するセクションメニュー



### ■ レイヤー選択

編集ウィンドウの任意の場所でクリックすると、マウスポインタの位置にある一番上のレイヤーを選択状態にします。選択されたレイヤーは [レイヤーパネル] の [レイヤー一覧] (P.81) で確認することができます。選択されたレイヤーをドラッグすると任意の位置に移動させることができます。しかし、ベースレイヤーは移動できません。

- ・クリックするとマウスポインタの位置にある一番上のレイヤーが選択される



- ・選択したレイヤーはドラッグで任意の位置へ移動できる





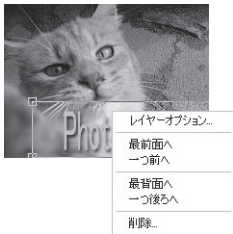
### レイヤー選択が上手くできない

[レイヤー]メニューの[追加] (P.101)などで追加したレイヤーはベースレイヤーと同じサイズとなり、レイヤー選択が上手くできない場合があります。そのときは、[レイヤーパネル]の[レイヤー一覧] (P.81)のサムネイル画像をクリックして任意のレイヤーを選択し、編集ウィンドウ上でキーボードの[Shift]と[Ctrl]を押しながらドラッグすると移動できます。



## レイヤー設定メニュー

選択したレイヤーの上で右クリックすると [レイヤー設定メニュー] が表示されます。

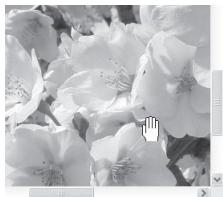


レイヤー オプション	レイヤーの設定をします (P.84)。
最前面へ	選択レイヤーの表示順位を一番前に移動します。
一つ前へ	選択レイヤーの表示順位を一つ前に移動します。
最背面へ	選択レイヤーの表示順位をベースレイヤーの前に移動します。
一つ後ろへ	選択レイヤーの表示順位を一つ後ろに移動します。
削除	選択レイヤーを削除します。

※ベースレイヤーは表示順位を移動させることが出来ません。

## ■ 手のひら

編集ウインドウより画像が大きく、右部と下部にスクロールバーが表示されているとき、編集ウインドウ内をドラッグすると任意の場所を表示します。



手のひらツールはキーボードの [スペース] を押しながらドラッグ、マウスの中ボタンを押しながらドラッグすることでも使用できます。

## ■ ペンモード

[覆い焼き] (P.52) や [エフェクト] (P.65) などのツールには、ブラシで画像の一部分へ効果を適用する [ペンモード] が使用できます。操作方法は『一部分の修正にはペンモードを使う (P.31)』をご覧ください。

・ドラッグで効果が適用される



・右ドラッグすると元に戻る





※ [不透明度] の影響を受けます。変更した場合はご注意ください。

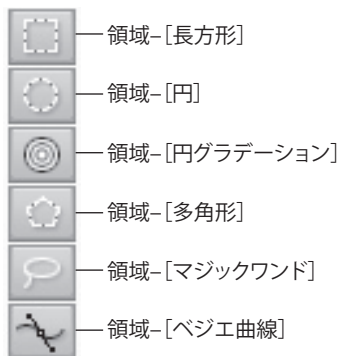


ペンモードから、通常の [ペイント] の [ブラシ] (P.69) へ戻りたい場合は、[カラーパネル] (P.75) から色 (またはテクスチャ) を選択してください。

# セクションの領域ツール

[暗室]、[修正]、[効果] の各セクションで共通するツールです。編集ウィンドウで編集する範囲を指定します。領域は、ポイントと呼ばれる四角形の点で囲まれた枠や線で表示されます。領域内にマウスポインタを移動させると、マウスポインタの形が  に変化します。この状態のときにドラッグすると領域の形を変えずに位置だけを移動させることができます。また、領域のポイントの上にマウスポインタを合わせると、マウスポインタの形状が  に変化します。そのままポイントをドラッグすると、領域のサイズや形を変更することができます。

## 領域に関するセクションメニュー



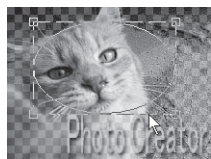
## ■ 領域 - [長方形]

長方形の領域を選択します。編集ウィンドウ上でドラッグして選択します。キーボードの[Shift]を押しながらドラッグすると正方形で選択することができます。



## ■ 領域 - [円]

円形の領域を選択します。編集ウィンドウ上でドラッグして選択します。キーボードの[Shift]を押しながらドラッグすると正円で選択することができます。



## ■ 領域 - [円グラデーション]

円形の領域にグラデーションをつけて選択します。編集ウィンドウ上でドラッグして選択します。キーボードの[Shift]を押しながらドラッグすると正円で選択することができます。円グラデーションで選択した領域に、[暗室]セクションの[カメラ効果](P.54)や[効果]セクションの[エフェクト](P.65)などを実行した場合、領域の中心ほどその効果が強くなり、領域の境界線に近づくほど効果が弱くなります。

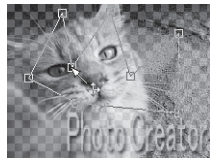
- ・円グラデーションで覆い焼きを実行した例





## ■ 領域 - [多角形]

ポイントを通る多角形の領域を選択します。編集ウィンドウの画像上でクリックするとポイントが作成され、始点から終点までを自動で結びます。右クリックをすると選択を終了します。領域を選択した後、ポイントを追加 / 削除したい場合は、ポイント上を右クリックして表示されるポップアップメニューから選択します。



## ■ 領域 - [マジックワンド]

画像にある色の境目を自動的に判断して多角形の領域を選択します。編集ウィンドウの画像上でクリックするとポイントが作成され、マウスポイントの移動でマウスポイントに一番近い色の境目に吸着して自動的にポイントを作成します。上手くポイントが作成されない場合は、クリックすると手動でポイントを追加することができます。右クリックをすると選択を終了します。領域を選択した後、ポイントを追加 / 削除したい場合は、ポイント上を右クリックして表示されるポップアップメニューから選択します。

マジックワンドで選択した領域はベジエ化され、ハンドルを操作してセグメント（ポイント間の線）を滑らかな曲線にすることができます。操作方法は『ベジエ曲線の操作（P.50）』をご覧ください。



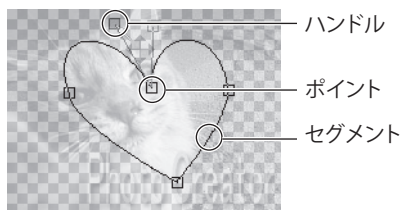
## ■ 領域 - [ベジエ曲線]

ポイントとポイントを結ぶ線（セグメント）を、方向点（ハンドル）を操作して滑らかな曲線にして選択します。



### ベジエ曲線の操作














編集ウィンドウの画像上でクリックするとポイントが作成され、始点から終点までをベジエ曲線で自動的に結びます。右クリックをすると選択を終了します。ポイントをクリックすると、赤い直線の先にハンドルが表示されます。ハンドルをドラッグして、セグメントを操作します。キーボードの [ALT] を押しながらハンドルをドラッグすると、ポイントを挟んだ反対側のハンドルも連動して 180 度を維持したまま操作することができます。領域を選択した後、ポイントを追加 / 削除したい場合は、ポイント上を右クリックして表示されるポップアップメニューから選択します。



# 暗室セクション

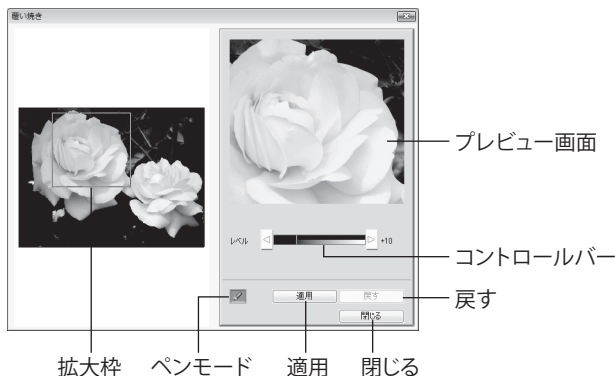
[暗室] セクションでは、写真を現像するときにおなじみの覆い焼きや焼き込みなどのツールがあります。

## [暗室] のセクションメニュー

-  レイヤー選択 (P. 44)
-  手のひら (P. 46)
-  覆い焼き
-  焼き込み
-  色温度
-  カメラ効果
-  トリミング
-  領域-[長方形] (P. 48)
-  領域-[円] (P. 48)
-  領域-[円グラデーション] (P. 48)
-  領域-[多角形] (P. 49)
-  領域-[マジックワンド] (P. 49)
-  領域-[ベジエ曲線] (P. 50)

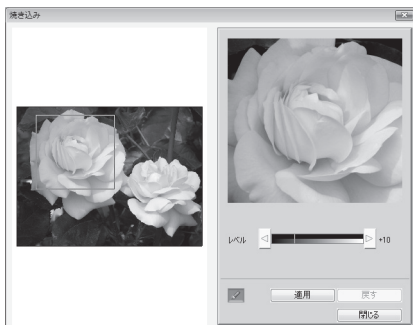
## ■ 覆い焼き

画像を明るくすることにより、露出不足の効果を適用するツールです。画面の左側に画像全体が表示され、拡大枠をドラッグすると、右側のプレビュー画面に表示されます。効果の度合いは[レベル]のコントロールバーで調節します。効果の結果はプレビュー画面に反映します。[適用]をクリックすると、選択中のレイヤーおよび選択した領域内の画像に覆い焼きが適用します。[戻す]をクリックすると元に戻ります。[ペンモード]をクリックすると[ペンモード] (P.46) に切り替わります。[閉じる]をクリックすると、画面を閉じます。



## ■ 焼き込み

画像を暗くすることにより、露出過多の効果を適用するツールです。効果の度合いは [レベル] のコントロールバーで調節します。



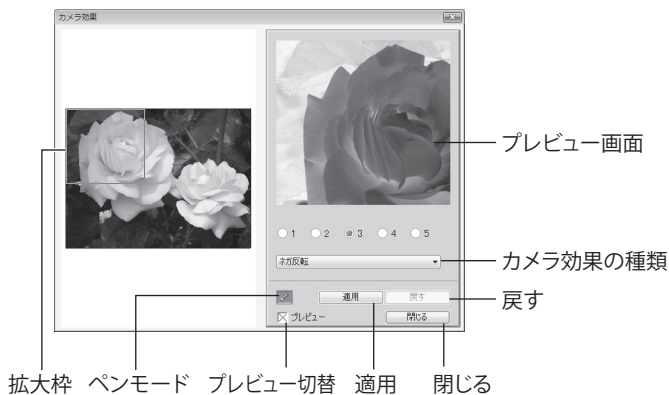
## ■ 色温度

画像に寒暖を適用するツールです。効果の度合いは [レベル] のコントロールバーで調節します。+ (右側) に動かすと寒色系に、- (左側) へ動かすと暖色系に変化します。



## ■ カメラ効果

画像にネガ反転やソフトフォーカスなどのカメラ効果を適用するツールです。カメラ効果の種類をメニューから選択し、効果の度合いを [1] ~ [5] からクリックして調節します。[適用] をクリックすると、選択中のレイヤーおよび選択した領域内の画像にカメラ効果が適用します。[戻す] をクリックすると元に戻ります。[ペンモード] をクリックすると [ペンモード] (P.46) に切り替わります。[閉じる] をクリックすると、画面を閉じます。



## ■ トリミング

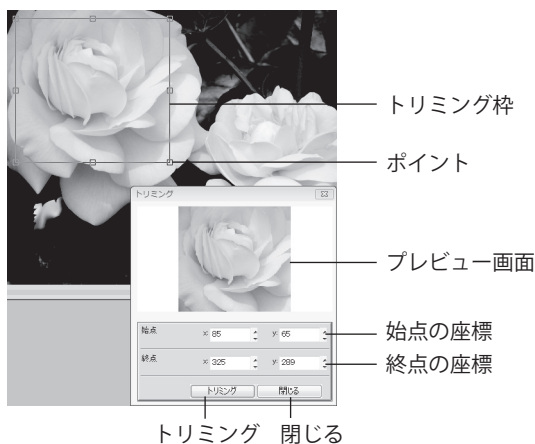
画像の一部を切り抜き、新規編集ウィンドウとして開きます。[トリミング] をクリックすると、新規編集ウィンドウが開きます。[閉じる] をクリックすると、トリミングを実行せずに元の編集画面に戻ります。

### 数値を入力する

切り抜きたい部分の [始点] と [終点] それぞれの座標の値を [x]、[y] に入力します。

### 枠をドラッグする

編集ウィンドウをドラッグすると、トリミング枠が表示されます。ポイントを動かしてサイズを変更したり、トリミング位置を調整します。サブウィンドウの座標も編集ウィンドウのトリミング枠に連動します。プレビュー画面でトリミング後の画像を確認しながらサイズや位置を決めます。



※トリミング後の画像は、透明度、レイヤー情報、Exif情報なども、そのまま継承されます。

# 修正セクション

【修正】セクションでは、写真を修正するクローンブラシや回転などのツールがあります。

## 【修正】のセクションメニュー

- |   |                  |   |                         |
|---|------------------|---|-------------------------|
|    | — レイヤー選択 (P. 44) |  | — 領域-[長方形] (P. 48)      |
|    | — 手のひら (P. 46)   |  | — 領域-[円] (P. 48)        |
|    | — クローンブラシ        |  | — 領域-[円グラデーション] (P. 48) |
|    | — 回転             |  | — 領域-[多角形] (P. 49)      |
|    | — レンズ補正          |  | — 領域-[マジックワンド] (P. 49)  |
|    | — 変形補正           |  | — 領域-[ベジエ曲線] (P. 50)    |
|    | — 自動色補正          |   |                         |
|    | — 色調補正           |   |                         |
|    | — フォーカス          |   |                         |
|   | — トーンカーブ         |   |                         |
|  | — 赤目補正           |   |                         |

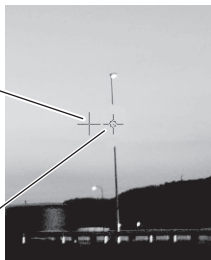


## ■ クローンブラシ

画像の一部をコピーして、不要なものを消したいときなどに使います。コピーしたい画像上でキーボードの [Shift] を押しながら左クリックして、コピー元の基準点を決定します。そのままドラッグしてコピー先の位置でマウスの左ボタンを離します。コピー元の基準点には+が表示され、ドラッグすると+の部分の画像が上書きされます。操作方法は『不要な部分を消す (P. 34)』をご覧ください。

コピー元を [Shift] キーを押しながらクリック

マウスボタンをはなさずにコピー先までドラッグ



## ■ 回転

編集ウィンドウを回転させて、新規編集ウィンドウとして開きます。回転した画像全体が入る編集ウィンドウが作成されますので、画像が途切れることはありません。透明度、レイヤー情報、Exif 情報なども、そのまま継承されます。



---

右 90 度回転    編集ウインドウを右 90 度回転させます。

---

180 度回転    編集ウインドウを 180 度回転させます。

---

左 90 度回転    編集ウインドウを左 90 度回転させます

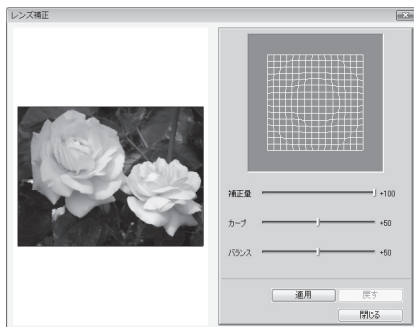
---

自由角度        回転角度を自由に指定します。

---

## ■ レンズ補正

カメラのレンズによる撮影歪みを補正します。各コントロールバーを調整すると、左側のプレビュー画面に反映します。カーブとバランスは、画像によってあまり効果が得られない場合があります。それぞれの画像に合わせて調整してください。




---

**補正量**        補正の度合いを調整します。

---

**カーブ**        中心からの距離に応じて歪みの量が変わっている場合、その度合いを調整します。

---

**バランス**     中心からの距離に応じて歪みの量が変わっている場合、変曲点をどこに置くかを決定します (0= 中心、100= 画像の端)。

---

**適用**        レンズ補正を画像に適用します。

---

**戻す**         レンズ補正を中止して、画像を元に戻します。

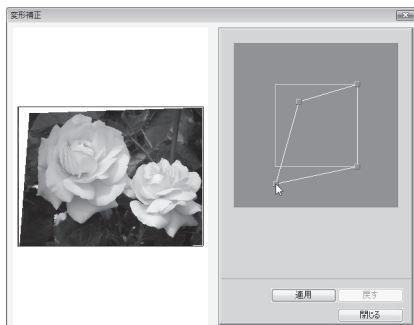
---

**閉じる**      レンズ補正を終了します。

---

## ■ 変形補正

普通のカメラで撮影したときの回り込み撮影の違いや、レンズ収差などによる部分的な画像修正に使用します。ポイントをドラッグして補正します。[適用]をクリックすると、画像に変形補正を適用します。[戻す]をクリックすると元に戻ります。[閉じる]をクリックすると、画面を閉じます。

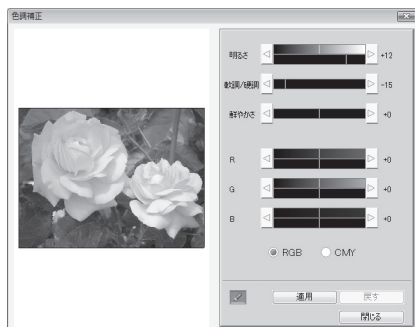


## ■ 自動色補正

選択中のレイヤーおよび選択領域内にある画像を、Photo Creator が最適だと判断した色調へ自動で補正します。操作方法は『画像の色を補正する (P. 28)』をご覧ください。

## ■ 色調補正

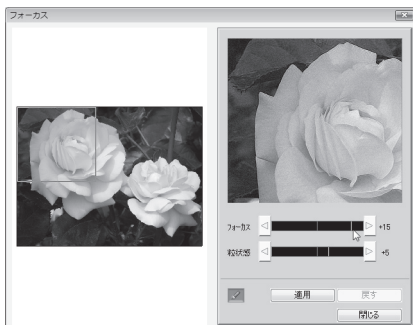
選択されたレイヤー全体または選択領域にある画像の色調をコントロールバーを使って補正します。操作方法は『画像の色を補正する (P.29)』をご覧ください。



明るさ	画像の明るさを調整します。+ (右側) で明るく、- (左側) で暗くなります。
軟調 / 硬調	画像のコントラストを調整します。+ (右側) でコントラストを強く、- (左側) でコントラストを弱くなります。
鮮やかさ	画像の鮮やかさを調整します。+ (右側) で鮮やかさを強く、- (左側) で鮮やかさを弱くなります。
RGB	画像の色合いを調整します。R (赤)、G (緑) B (青) の色合いを+ (右側) で強く、- (左側) で弱くします。
CMY	画像の色合いを調整します。C (シアン) M (マゼンダ) Y (イエロー) の色合いを+ (右側) で強く、- (左側) で弱くします。
ペンモード	補正を画像の一部へ適用するときを使用します (P.46)。
適用	画像に補正を適用します。
戻す	画像を元に戻します。
閉じる	色調補正を終了します。

## ■ フォーカス

ピントがぼけた画像をはっきりとしたシャープな画像にしたり、画像をぼかしてソフトな画像にしたりします。



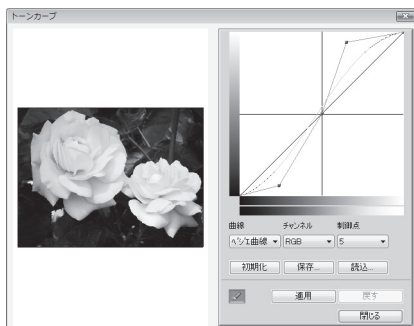
フォーカス	画像の輪郭部分を調整します。+ (右側) でシャープに、- (左側) でソフトにします。
粒状感	画像の粒状のノイズを調整します。+ (右側) でノイズを増やし、- (左側) でノイズを減らします。
ペンモード	補正を画像の一部分へ適用するとき 사용합니다 (P.46)。
適用	画像に補正を適用します。
戻す	画像を元に戻します。
閉じる	フォーカスを終了します。



[フォーカス] を+側に、[粒状感] を-側に設定すると、輪郭をシャープに保ったまま、粒状のノイズを軽減することができます。

## ■ トーンカーブ

補正曲線を使った色合いを変更します。ポイントをドラッグしてグラフ内の曲線を操作します。グラフ下に表示されている2本のグラデーションバーは、上が元画像の情報を指し、下が補正後の情報を指しています。このグラデーションの差が大きいほど、元画像と補正後の画像の変化が大きくなります。また、補正曲線はファイルとして保存、読込が可能です。複数の画像に同じ補正をかける場合に便利です。



曲線	制御点を結ぶ線の種類を、ベジエ曲線（制御点に向かう緩やかな曲線）/直線から選びます。
チャンネル	補正するチャンネルを選びます。赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / イエロー / 色相 / 彩度 / 明度 / RGB から選択します。
制御点	グラフ内にある制御点の数を [3 ~ 8] から設定します。制御点が多いほど、きめ細かい補正が可能です。
初期化	グラフの状態を初期化します。
保存	補正曲線を保存します。
読込	保存した補正曲線を読み込みます。
ペンモード	補正を画像の一部へ適用するとき 사용합니다 (P. 46)。
適用	トーンカーブを編集ウィンドウの画像に適用します。
戻す	編集ウィンドウの画像に適用したトーンカーブを元に戻します。
閉じる	トーンカーブの画面を閉じます。

## ■ 赤目補正

ストロボ撮影で人物の目が赤目（瞳が赤く写る現象）になった画像を補正します。画面の左側に画像全体が表示され、拡大枠をドラッグすると、右側のプレビュー画面に表示されます。プレビュー画面の赤目部分をクリックすると、自動的に赤枠の補正エリアが作成され、赤目を補正します。補正エリアはポイントをドラッグして、大きさと位置を調整することができます。



**拡大率** プレビュー画面の表示拡大率を [x1] ~ [x16] から選択します。

**ハイライト** 瞳の光の大きさを指定します。

**アイリス** 瞳孔の大きさを指定します。

**色自動** 瞳の色を自動で設定します。チェックボックスを外すと、瞳の色を変更できます。[アイリスの色]の画面が表示されるので、任意の色を作成します。作成した色は、[ポケット] のマス目上を右クリックすることで登録することができます。

**クリア** 補正エリアをクリアします。












**OK** 赤目補正を編集ウインドウへ適用します。

**キャンセル** 赤目補正をキャンセルして画面を閉じます。

# 効果セクション

[効果] セクションでは、写真に特殊な効果を与えるエフェクトや合成などのツールがあります。

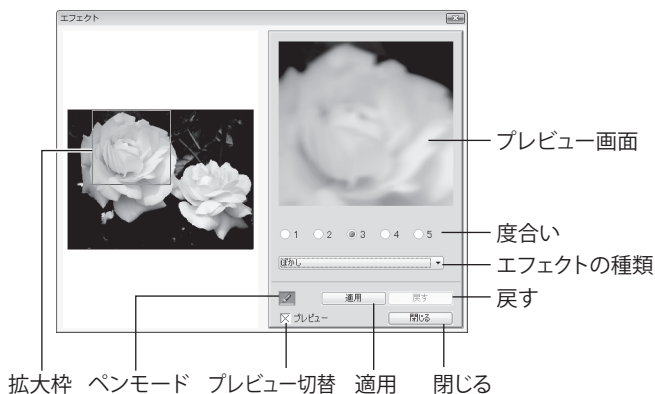
## [効果] のセクションメニュー

-  レイヤー選択 (P. 44)
-  手のひら (P. 46)
-  エフェクト
-  3D 効果
-  画像の合成
-  領域-[長方形] (P. 48)
-  領域-[円] (P. 48)
-  領域-[円グラデーション] (P. 48)
-  領域-[多角形] (P. 49)
-  領域-[マジックワンド] (P. 49)
-  領域-[ベジエ曲線] (P. 50)



## ■ エフェクト

画像にぼかしや陰影などのエフェクト（特殊な効果）を与えます。エフェクトの種類をメニューから選択し、効果の度合いを [1] ～ [5] からクリックして調節します。効果の結果はプレビュー画面に反映されます。[プレビュー] のチェックをはずすと、元の画像をプレビュー画面に表示します。[適用] をクリックすると、選択中のレイヤーおよび選択した領域内の画像にエフェクトが適用します。[戻す] をクリックすると元に戻ります。[ペンモード] をクリックすると [ペンモード] (P.46) に切り替わります。[閉じる] をクリックすると、画面を閉じます。



## ■ 3D 効果

選択されたレイヤーを立体化します。右側に表示された光源を、+のポイントをドラッグで決定します。メニューから陰影 / 球 / ドーナツを選択します。

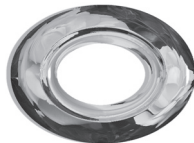
・ 陰影

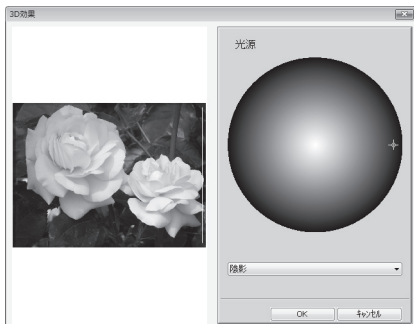


・ 球



・ ドーナツ





#### エラーが表示される

3D効果はメモリーを多く消費するため、3000 × 3000 ピクセル以下のレイヤーのみ処理が可能です。また、実行時にメモリーが足りないと「メモリーが不足しました」とエラーが表示される場合があります。エラーが表示されたら、他のアプリケーションソフトを終了させるなどして、空きメモリーを増やしてから再度実行してください。



#### 元に戻せない

3D効果は、ベースレイヤー以外のレイヤーでは、「画像」メニューの「元に戻す」が実行できません。ベースレイヤー以外のレイヤーに実行しようとする、警告画面が表示されます。「はい」をクリックすると、3D効果を実行して編集ウインドウへ戻ります。「いいえ」をクリックすると、3D効果の設定画面に戻ります。

## ■ 画像の合成

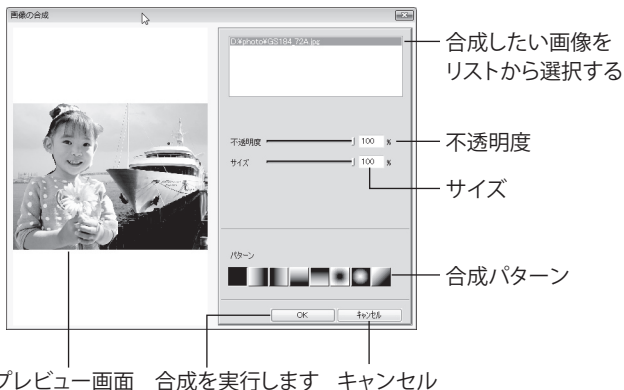
2つの画像を合成します。背景となる画像を選択して「画像の合成」ボタンをクリックします。また、あらかじめ合成したい2つの画像をPhoto Creatorで開いておく必要があります。操作方法は『合成写真を作成する (P. 37)』をご覧ください。

※レイヤーパネルにドロップすればあらかじめ開いておく必要はありません。

・背景となる写真



・合成する写真

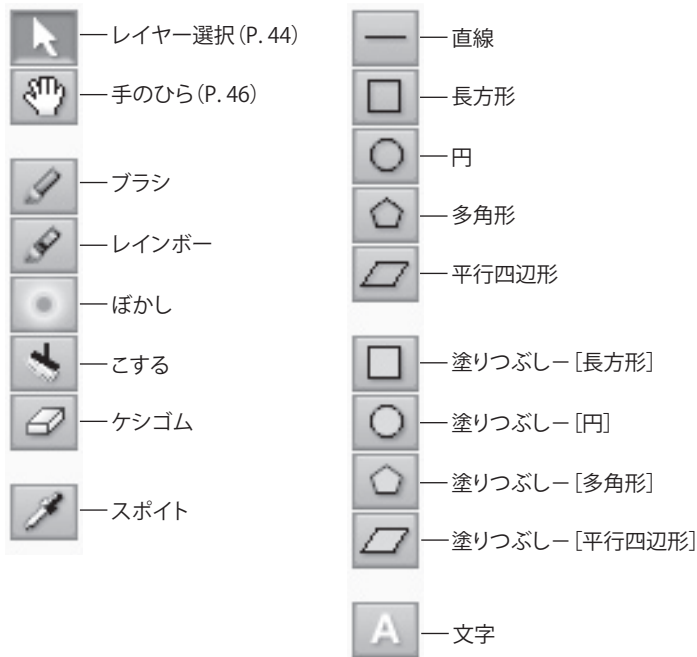


画像リスト	開いている画像がリストで表示されます。合成したい画像を選択します。
不透明度	合成する写真の不透明度を設定します。値が低いほど合成する画像が透明になります。
サイズ	合成する画像の大きさを % で指定します。
パターン	画像を合成するときグラデーションをかけるオプションです。黒い部分に適用され、白い部分ほど画像は透明になります。
OK	画像の合成を実行します。
キャンセル	画像の合成をキャンセルします。

# ペイントセクション

[ペイント] セクションでは、描画に関するブラシや直線、文字などのツールがあります。

## [ペイント] のセクションメニュー



## ■ ブラシ

編集ウィンドウにマウスポインタをドラッグして描画します。[カラーパネル] (P.75) で選択した色と、[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、自由線を描画します。



### スポイト機能

画像の任意の場所で右クリックをすると、色を取得する [スポイト] になります。

## ■ レインボーブラシ

編集ウィンドウにマウスポインタをドラッグして描画します。

[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、虹色に変化する自由線を描画します。



## ■ ぼかし

水で滲んだようにぼかすことができます。

[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、画像の上でドラッグすると、周辺の色がにじんだように変化します。



## ■ こする

水で滲んだようにぼかすことができます。

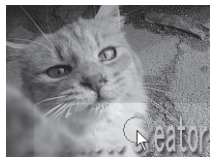
[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、画像の上でドラッグすると、周辺の色がにじんだように変化します。




## ■ ケシゴム

[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、画像の上でドラッグすると、周辺の画像が消えて透明になります。ベースレイヤーに実行した場合、見た目は白色になりますが透明になります。

- ・ ベースレイヤーに実行した場合
- ・ 追加したレイヤーに実行した場合



## ■ スポイト

編集ウインドウの画像上で右クリックするとマウスポインタが  に変化し、色を取得することができます。取得した色は、[カラーパネル] や [オプションバー] で確認することができます。



## ■ 直線

[カラーパネル] (P.75) で設定した色と、[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、直線を描きます。編集ウインドウの画像上でドラッグします。キーボードの [Shift] を押しながらドラッグすると直線の角度を 15 度毎に固定して描くことができます。



## ■ 長方形

[カラーパネル] (P.75) で設定した色と、[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、長方形を描きます。編集ウインドウの画像上でドラッグします。キーボードの [Shift] を押しながらドラッグすると正方形になります。



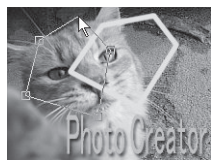
## ■ 円

[カラーパネル] (P.75) で設定した色と、[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、円を描きます。編集ウインドウの画像上でドラッグします。キーボードの [Shift] を押しながらドラッグすると正円になります。



## ■ 多角形

[カラーパネル] (P.75) で設定した色と、[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、多角形を描きます。編集ウインドウの画像上でクリックするとポイントが作成され、始点から終点までを多角形で自動的に結びます。右クリックをすると線が描かれます。



## ■ 平行四辺形

[カラーパネル] (P.75) で設定した色と、[ブラシパネル] (P.79) で選択したブラシサイズと形状で、平行四辺形を描きます。編集ウインドウの画像上でクリックするとポイントが作成され、一辺の始点と終点までを決めます。ドラッグすると自動的に平行四辺形になります。クリックすると線が描かれます。



## ■ 塗りつぶし - [長方形]

[カラーパネル] (P. 75) で設定した色で長方形に塗りつぶします。編集ウインドウの画像上でドラッグします。キーボードの [Shift] を押しながらドラッグすると正方形になります。



## ■ 塗りつぶし - [円]

[カラーパネル] (P. 75) で設定した色で円形に塗りつぶします。編集ウインドウの画像上でドラッグします。キーボードの [Shift] を押しながらドラッグすると正円になります。



## ■ 塗りつぶし - [多角形]

[カラーパネル] (P. 75) で設定した色で多角形に塗りつぶします。編集ウインドウの画像上でクリックするとポイントが作成され、始点から終点までを多角形で自動的に結びます。右クリックをすると塗りつぶしが実行されます。



## ■ 塗りつぶし - [平行四辺形]

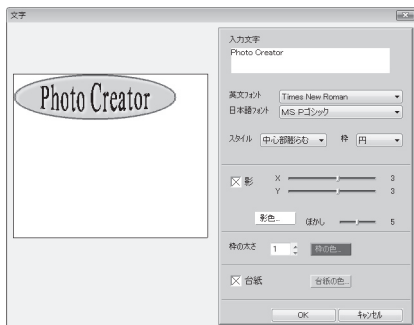
[カラーパネル] (P. 75) で設定した色で平行四辺形に塗りつぶします。編集ウインドウの画像上でクリックするとポイントが作成され、一辺の始点と終点までを決めます。ドラッグすると自動的に平行四辺形になります。クリックすると塗りつぶしが実行されます。





## ■ 文字

[カラーパネル] (P. 75) で設定した色またはテキストチャで、キーボードから入力した文字列を画像へ貼り付けます。



プレビュー画面	設定項目に応じて左側のプレビュー画面がリアルタイムに変化します。
入力文字	画像に描画したい文字列をキーボードで入力します。
英文字フォント	英文字フォントを、メニューをクリックして選択します。Windows にインストールされているフォントに依存します。
日本語フォント	日本語フォントを、メニューをクリックして選択します。Windows にインストールされているフォントに依存します。
スタイル	文字列全体のデザインを、メニューをクリックして選択します。上円形 / 波形などの種類があります。
枠	文字列に枠をつけます。枠なし / 円 / 長方形から選びます。円または長方形を選択すると、枠と台紙に関する設定項目が表示されます。
影	文字列に影をつけます。チェックを入れると、影に関する設定項目が表示されます。
X (横) / Y (縦)	影にチェックを入れる则表示されます。影を表示する位置を設定します。+側は右下に、-側は左上に影をつけます。
影色	影にチェックを入れる则表示されます。[影色] ボタンをクリックして色を決めます。

ぼかし	影にチェックを入れる则表示されます。影のぼかしを設定します。値が大きいほど影のぼける度合いが増します。
枠の太さ	枠の項目で円または長方形を選択则表示されます。枠の太さを設定します。
枠の色	枠の項目で円または長方形を選択则表示されます。[枠の色] ボタンをクリックして色を決めます。
台紙	枠の項目で円または長方形を選択则表示されます。枠内に背景色をつけます。チェックを入れると、台紙に関する設定項目が表示されます。
台紙の色	台紙にチェックを入れる则表示されます。[台紙の色] ボタンをクリックして色を決めます。
OK	[OK] をクリックすると、編集ウインドウに文字の貼り付けイメージが表示されます。
キャンセル	文字の描画を中止します。

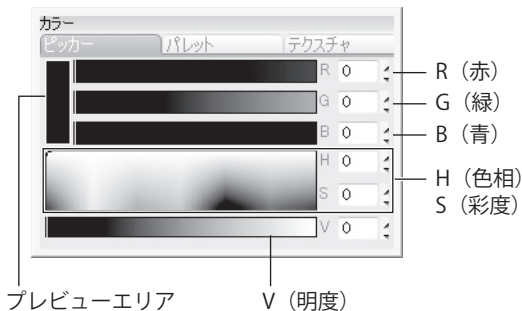
画面の [OK] ボタンをクリックすると、編集ウインドウに文字が選択された状態が表示されます。ポイントをドラッグして大きさを変えます。描画する位置にドラッグして、右クリックメニューから貼り付けを実行します。貼り付けメニューは、[画像] メニューの [貼り付け] (P.97) と同じです。

# カラーパネル

描画色を管理するパネルです。[ピッカー]、[パレット]、[テクスチャー]のタブをクリックして描画色を設定します。表示の切り替えはメニューバーの [表示] から [カラー] をクリックします。

## ■ ピッカー

色を作成するパネルです。RGB / HSV から色を作成します。作成した色は左上のプレビューエリアに表示されます。



---

**RGB** 光の三原色での混色方法です。R (赤) G (緑) B (青) のコントロールバーをドラッグして色を作成します。数値を入力して色を作成することもできます。

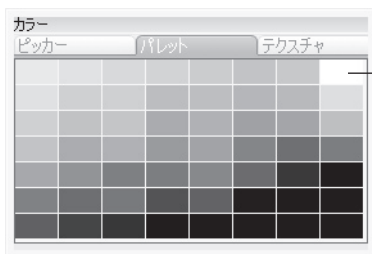
---

**HSV** H (色相) S (彩度) V (明度) での混色方法です。H/S のエリアと V のコントロールバーから色を作成します。テキストボックスに数値を入力して色を作成することもできます。

---

## ■ パレット

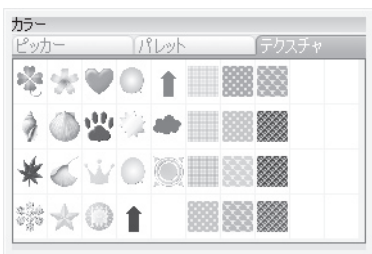
色を登録するパネルです。クリックで色を選択します。選択した色は[オプションバー]の[描画色](P.43)に表示されます。[スポイト]で取得した色や、[ピッカー]で作成した色をパレットに登録するには、ポケットの上で右クリックをします。よく使用する色は登録しておく便利です。



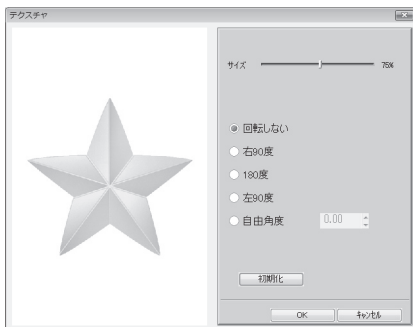
ポケット  
右クリックで描画色を登録

## ■ テクスチャ

Photo Creator には、[テクスチャ]と呼ばれる、ハードディスク内に素材を収納する機能があります。



ポケットをクリックすると、[テクスチャ] 画面が表示され、描画するときの設定をします。透明情報を含んだ素材は、スタンプのように画像を描画します。透明情報を含まない素材は、パターンのように画像を敷き詰めたように描画します。



サイズ	コントロールバーをドラッグして、素材の大きさ (%) を指定します。
回転しない	素材を回転させません。
右 90 度	素材を右 90 度回転させます。
180 度	素材を 180 度回転させます。
左 90 度	素材を左 90 度回転させます
自由角度	素材に透明情報が含まれている場合、この項目が選択できません。回転角度を自由に指定します。
初期化	設定した項目を初期化します。
OK	設定を保存して、編集ウィンドウに戻ります。
キャンセル	設定を保存しないで、編集ウィンドウに戻ります。

### 透明情報を含んだ素材

スタンプのように画像を自由な位置に描画することができます。クリックした時に、テクスチャがぶれてしまう場合、キーボードの [Shift] を押しながらクリックすると、一度しか描画されないので安心です。



### 透明情報を含まない素材

編集ウィンドウ全体にテクスチャを敷き詰めたように描画します。



#### ユーザーが作成した素材を登録する

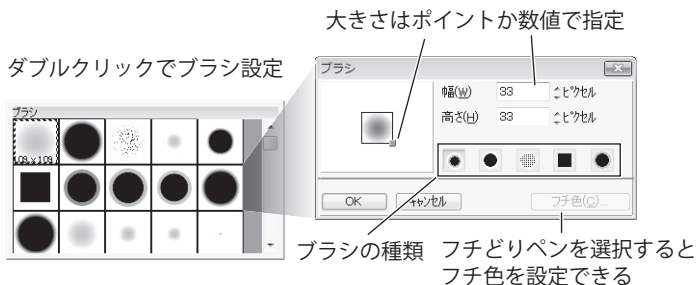
テクスチャのポケット上で右クリックをすると、[ファイルを開く] (P. 88) の画面が表示されます。ファイルの種類を [すべての画像ファイル] にすると、Photo Creator で読み込むことが可能なすべての形式を表示します。特定のファイル形式のみ表示させたい場合は、[ファイルの種類] のメニューをクリックして選択します。テクスチャに登録したい画像ファイルを選択して [開く] をクリックすると、素材として登録します。なお、複数のレイヤーで構成された画像ファイルの場合、ベースレイヤーしか登録されませんのでご注意ください。

# ブラシパネル

描画に使用するブラシの大きさと種類を設定します。表示の切り替えはメニューバーの「表示」から「ブラシ」をクリックします。

## ■ ブラシパレット

[ペイント] セクションの「ブラシ」(P.69) や [ペンモード] (P.46) で描画するときのブラシを選択します。ポケットをダブルクリックまたは右クリックで、ブラシの設定を変更できます。



## ブラシ設定

左側にプレビューが表示されます。ブラシの大きさは、「幅」、「高さ」に数値を直接入力するか、プレビューのポイントをドラッグして変更します（最大 255 ピクセル）。縦横比の異なるブラシにするには、キーボードの [Shift] を押しながらドラッグします。

● (フチどりペン) をクリックすると、「フチ色」が選択できるようになります。「フチ色」ボタンをクリックして、フチ色を設定します。

※フチどりペンのみ、タブレットの筆圧に対応しません。

## ■ 線の太さ、形状

[ペイント] セクションの [直線]、[長方形]、[円]、[多角形]、[平行四辺形] (P. 70) が選択されたとき表示されます。[線の太さ] を数値で入力し、[形状] を選択します。





# レイヤーパネル

レイヤーの設定や構成を行なうパネルです。Photo Creator は、複数のレイヤーを使って、一つの画像を作成することができます。レイヤーパネルの表示を切り替えるには、メニューバーの[表示]から[レイヤー]をクリックします。

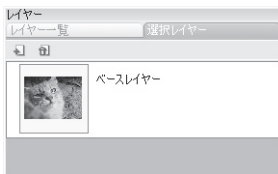


## ファイルを保存するときの注意

追加したレイヤー情報をそのままファイルに保存するには、Photo Creator の標準形式[\* .pcr]で保存する必要があります。他の形式では、レイヤーを統合して保存しますので注意してください。詳しくは[ファイル]メニューの[保存] (P.91) をご覧ください。

## ■ 選択レイヤー

選択中のレイヤーをパネルに表示します。



## ■ レイヤー一覧

編集している画像のレイヤー構成を一覧にしてパネルに表示します。レイヤーパネルは、表示順位の高いレイヤーから最下位のベースレイヤーを表示します。

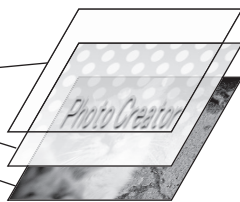
編集ウィンドウの画像



レイヤー一覧



3枚のレイヤーで構成



※イメージ

レイヤーの追加

## レイヤーの表示順位を変更する

レイヤーの表示順位を変更するには、[レイヤー一覧] (P. 81) で変更したいレイヤーを上または下へドラッグします。ただし、ベースレイヤーは固定されているため変更することはできません。



※編集ウィンドウで右クリックすると表示される [レイヤー設定メニュー] (P. 45) でも表示順位を変更することができます。

## ■ レイヤーの追加

[追加] ボタンをクリックすると、レイヤーを新たに追加します。追加されたレイヤーのサイズは編集ウインドウと同じサイズになり、追加された直後は透明なレイヤーとなります。

## ■ レイヤーの削除

[削除] ボタンをクリックすると、選択されているレイヤーを削除します。確認画面が表示されますので、実行するには [はい] ボタンを、中止する場合は [いいえ] をクリックします。

※ベースレイヤーを削除することはできません。

## ■ レイヤーの表示 / 非表示

### [表示切替] ボタン

ボタンをクリックすると、レイヤーの表示 / 非表示を切り替えます。

### [合成表示] ボタン

ボタンをクリックすると、レイヤー合成表示 / 選択レイヤーのみ表示を切り替えます。レイヤーに透明な部分がある場合、[表示切替] ボタンは白色になります。

## ■ レイヤーオプション

[レイヤー一覧] (P.81) のレイヤー上で右クリックすると、[レイヤーオプション] を変更できます。



名前	レイヤーの名前を任意でつけることができます（全角 19 文字まで）。
表示	レイヤーの合成方法を変更します。
不透明度	レイヤーの不透明度を変更します。コントロールバーをドラッグ、または数値を入力します。値が低いほど、下のレイヤーが透けます。[0%] にすると透明になり非表示と同じ状態になります。
座標 X(横) / Y(縦)	ベースレイヤーの左上を [x:0]、[y:0] として、レイヤーの左上までの座標を表示します。レイヤーの位置は、編集ウィンドウでドラッグするか、数値を入力して指定します。単位はピクセルです。
OK	設定を変更して画面を閉じます。
キャンセル	設定を変更しないで画面を閉じます。

## レイヤー合成方法

表示しない	非表示にします。下のレイヤーが表示されます。
重ねる	上のレイヤーを重ねて表示します。上のレイヤーに透明な部分があれば、下のレイヤーを表示します。
乗算	上と下のレイヤーの画像を乗算して合成します。
明るい方	上のレイヤーが下のレイヤーより明るい場合は上のレイヤーの色になり、暗い場合は下のレイヤーの色に合成します。
暗い方	上のレイヤーが下のレイヤーより暗い場合は上のレイヤーの色になり、暗い場合は下のレイヤーの色に合成します。
明度	上のレイヤーの明度に下の色相と彩度を組み合わせて合成します。
色相と彩度	上のレイヤーの色相と彩度に下の明度を組み合わせて合成します。
ハイライト	上と下のレイヤーの画像を足し算した値を合成します（値の上限は 255）。上のレイヤーの明るい部分が白っぽく合成します。
差の絶対値	上と下のレイヤーの画像を引き算した差を合成します。
オーバーレイ	下のレイヤーの明暗を活かしたまま、上のレイヤーの色を重ねます。

# Exif 情報パネル

デジタルカメラで撮影した画像に埋め込まれている Exif（イグジフ）情報を表示します。表示の切り替えはメニューバーの [表示] から [Exif 情報] をクリックします。

Exif情報	
画像タイトル	OLYMPUS DIGITAL GAME...
メーカー	OLYMPUS CORPORATION
モデル	C8080WZ
露出時間(秒)	1 / 500
F値	5.6
露出プログラム	ノーマルプログラム
ISOスピードレ...	200
撮影日時	2004:09:14 14:10:57
露出補正	EV 0.3
レンズの最小F...	2.8
測光方式	パターン測光
光源	不明
フラッシュ	16
レンズの焦点...	15.8
ユーザコメント	
画像入力機器...	デジタルスチルカメラ
シーンタイプ	直接撮影された画像
カスタム画像処...	ノーマル
露出モード	マニュアル
ホワイトバランス	オート
デジタルズーム	0.0
撮影シーンタイ...	標準
ゲインエントロー...	Low gain up
コントラスト	標準
撮影彩度	高彩度
シャープネス	ハード



## Exif 情報とは

Exif 情報とは、画像が撮影された日時や、デジタルカメラの機種、露出時間、フラッシュの有無など、画像の一部としてファイル内に記録されている情報のことです。

# ファイルメニュー

## ■ 新規作成

編集ウインドウ（新しい作業画面）を作成します。設定画面が表示されるので、[幅] と [高さ] を数値で入力します。[解像度] は、1インチあたりのピクセルの大きさを指定します。[単位] は、ピクセル / ミリメートル / インチから選択します。[ペーパー] のメニューをクリックすると、A4 / ハガキ / L サイズなど一般的な大きさからサイズを選ぶこともできます。[横] または [縦] をクリックすると、[幅] と [高さ] の数値が入れ替わります。[OK] をクリックすると、白で塗りつぶされた新しい編集ウインドウが作成します。



## ■ 開く

すでにハードディスクなどに保存されている画像ファイルを Photo Creator で開きます。ファイルの種類を [すべての画像ファイル] にすると、Photo Creator で読み込むことが可能なすべての形式を表示します。特定のファイル形式のみ表示させたい場合は、[ファイルの種類] のメニューをクリックして選択します。読み込みたい画像を選んで [OK] をクリックすると Photo Creator で開きます。サムネイルから読み込む画像を選択したい場合には、[ファイル一覧] をご利用ください。



### 対応ファイル一覧

Photo Creator で対応しているファイル形式の一覧です。

PCR	Photo Creator 標準の画像ファイル形式です。透明度やレイヤー情報などの付加情報も含め、すべての情報を保存したい場合は標準 [* .pcr] で保存します。
BMP / DIB	Windows 標準の画像ファイル形式です。フルカラーで保存できますが圧縮しないため、ファイルサイズが大きくなります。拡張子は [* .bmp] と [* .dib] の2種類ありますが、拡張子が異なるだけで内容はどちらも同じです。
ICO	Windows で使われるアイコンのファイル形式です。編集画像のサイズに関係なく縦横 32 ピクセルに縮小して保存します。なお、Photo Creator で保存できるのはフルカラーアイコンとなります。この形式で保存した場合、再度画像を読み込むと 32 × 32 ピクセルに縮小されているので再編集には向きません。注意してください。



JPEG <sup>*1</sup>	インターネットで広く普及している画像ファイル形式です。圧縮して保存するためファイルサイズは圧倒的に小さくなりますが、画像は劣化します（不可逆圧縮）。 拡張子は [*.jpeg] と [*.jpg] の2種類ありますがファイルの内容はどちらも同じです。
PNG	インターネットで普及している画像ファイル形式です。可逆圧縮（復元可能な圧縮形式）で保存するため、画質が劣化しないという特性があります。 同じ画像を保存した場合、ファイルサイズは BMP より小さくなりますが、JPEG よりは大きくなります。なお、Photo Creator で保存できるのはフルカラー PNG です。
RGB	フジフィルムベタファイル形式です。フルカラーで保存できますが圧縮しないため、BMP 同様、ファイルサイズが大きくなります。現在ではあまり使われていない形式ですが古いグラフィックソフトで作成したデータが RGB 形式の場合などに利用してください。
TGA	TGA フォーマットは Truevision 社の Targa のファイルフォーマットで、現在は、各種レイトレーシングアプリケーションが対応しています。長い間、世界的には広く使われてきた形式です。可逆圧縮で比較的ファイルサイズが小さいのが特徴です。
TIFF <sup>*1</sup>	Windows / Mac など異なる環境でやり取り可能な互換形式です。フルカラーで保存できますが圧縮しないため、BMP 同様、ファイルサイズが大きくなります。
ORF <sup>*2</sup>	ORF 形式画像（オリンパス RAW データフォーマット）に対応しています。Photo Creator では、読み込み専用形式です。対応機種につきましては、[サポートページ] でご確認ください。
PXA	フリーウェア Pixia の標準ファイル形式です。
PICT / PCT	Macintosh 標準の画像ファイル形式です。拡張子は [* .pict] と [* .pct] の2種類ありますがファイルの内容はどちらも同じです。
PSD	Adobe Systems 社の Photoshop により作成される標準画像です。Photo Creator ではレイヤー情報も含めて PSD 形式の保存 / 読み込みをサポートしますが、Photoshop とのレイヤーオプションの相違により、一部読み込み結果が異なる場合があります。

<sup>\*1</sup> Photo Creator で、Exif 情報付きのファイルを保存した場合、Exif 情報はそのまま保持します。Exif 情報のないファイルで保存したい場合は、保存する前に一度、[画像] メニューの [Exif 情報をクリア] を実行してください。

<sup>\*2</sup> 読み込みのみ対応しています。

## ■ ファイル一覧

[Photo Creator ファイル一覧] を起動します。[Photo Creator ファイル一覧] は Photo Creator に付属するエクスプローラに似た画像ビューワです。フォルダ内の画像を縮小して一覧できるので多数の画像ファイルを整理するときに役立ちます。ファイル一覧の画像を Photo Creator のウィンドウ内へドラッグ&ドロップすると、Photo Creator で画像を開きます。



※ファイル一覧の画像をレイヤーパネルにドロップすれば合成になります。

## ■ クリップボードから開く

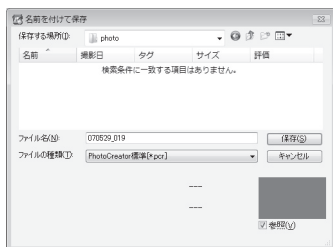
[編集] メニューの [コピー] (P. 96) の操作を行なうと、クリップボードへデータが転送されます。コピーした画像データがクリップボードにある場合、Photo Creator の新規編集ウィンドウとして開きます。クリップボードに画像データがない場合は選択できません。

## ■ 保存

現在編集中の編集ウィンドウを上書きで保存します。警告ウィンドウは表示されないの、注意してください。新規作成などで初めて編集ウィンドウを保存する場合は、[名前をつけて保存] の画面が表示されます。

## ■ 名前をつけて保存

現在のファイル名とは違う名前でも保存します。ファイルの種類はメニューをクリックして選択します。Photo Creator で引き続き編集したい場合や、透明度やレイヤー情報なども保存したい場合は、必ず、Photo Creator の標準形式 [\* .pcr] で保存してください。[\* .pcr] 以外のファイル形式を選ぶと、レイヤー情報などは破棄され、表示されている編集ウィンドウの状態でも保存します。また、標準形式 [\* .pcr] 以外で保存しようとするとう警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、[以後、この警告は表示しない] にチェックを入れます。操作に慣れないうちはチェックを入れないほうが良いでしょう。



## ■ すべての編集を取り消す

今まで行った編集作業をすべて取り消して、最初に Photo Creator で開いた状態に戻します。[OK] をクリックすると実行します。[キャンセル] をクリックすると、元の編集ウィンドウへ戻ります。

## ■ 閉じる

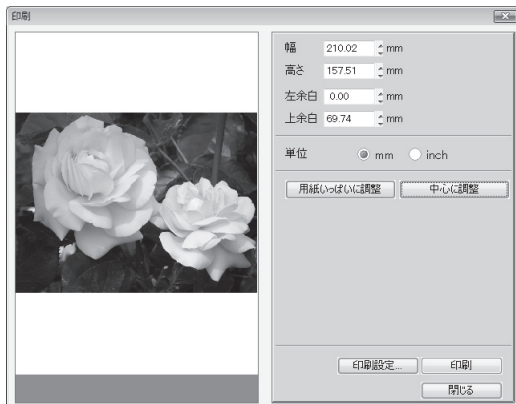
選択中の編集ウィンドウを終了します。画像に変更があった場合、保存の確認する画面が表示されます。[はい] をクリックすると [保存] してから編集ウィンドウを閉じます。[いいえ] をクリックすると、保存しないで編集ウィンドウを閉じます。[キャンセル] をクリックすると、閉じずに、元の編集ウィンドウへ戻ります。

## ■ デジタルカメラから入力

パソコンに USB ケーブルで接続するとドライブとして認識されるデジタルカメラ (SD カード等、デジカメ内のメディア含む)、または TWAIN / WIA に対応した入力用周辺機器 (デジタルカメラやスキャナーなど) から画像を読み込みます。この操作を行なう前に、デジタルカメラまたは入力用周辺機器がパソコンと接続されている必要があります。操作方法は『デジタル写真を取り込む (P. 21)』をご覧ください。

## ■ 印刷

選択中の編集ウィンドウ画像を印刷します。各項目に数値を設定することでプレビュー画面 (印刷イメージ) が変化します。数値を入力しなくても [用紙いっぱい調整] をクリックすると、指定した用紙に収まるよう自動で調整します。用紙サイズや印刷の向きは [印刷設定] で指定します。また、左側のプレビュー画面をドラッグすることで、自由にレイアウトすることも可能です。印刷したい場所でマウスの左ボタンを押し、任意の大きさまでドラッグします。各項目の数値も、プレビュー画面に合わせて変化します。

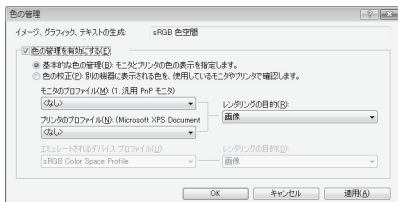


幅	画像を印刷したときの幅です。
高さ	画像を印刷したときの高さです。
左余白	用紙の左余白を指定します。用紙の端からではなく、プリンターの印刷可能範囲からの左部の距離です。
上余白	用紙の上余白を指定します。用紙の端からではなく、プリンターの印刷可能範囲からの上部の距離です。
単位	各設定の単位をミリメートル / インチから指定します。
用紙いっぱいに調整	選択された用紙サイズに最も大きく印刷されるよう調整します。
中心に調整	印刷する位置を用紙の中心に調整します。
印刷設定	接続されているプリンターの設定をします。用紙サイズや印刷の向きなどはここで指定します。詳しくはプリンターの付属マニュアルを参照してください。
印刷	印刷を開始します。
閉じる	印刷を中止して、元の編集ウインドウへ戻ります。

## ■ 環境設定

### 色の管理

Windows が内蔵している [ICM (色管理システム)] の設定画面です。色の管理を有効にすると、プリンターで印刷したときにディスプレイで表示されている色になるべく近づけるように働きます。印刷結果がディスプレイで表示されている色と異なった場合、[色の管理を有効にする] にチェックを入れると良いでしょう。通常は [基本的な色の管理] を選択します。[レンダリングの目的] は印刷してみても一番良い結果になるものを選んでください。

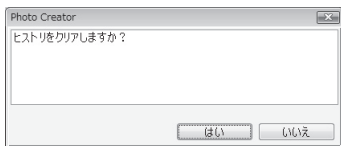


#### ICM (Image Color Matching) とは

ICM (Image Color Matching) とは、ディスプレイやプリンターなど異なる入出力機器による色の差を補正し、同一のデータなら同一の色が再現されるように働くシステムです。

## ■ ファイル名履歴のクリア

[終了] の下に表示される、これまでに Photo Creator で読み込まれた画像ファイル一覧の履歴を消去します。



## ■ 終了

表示されている編集ウィンドウを全て閉じて Photo Creator を終了します。保存していない編集画面がある場合、保存の確認する画面が表示されます。

## ■ ファイルの履歴

これまでに Photo Creator で読み込まれた画像ファイルの履歴が表示されます。初めて Photo Creator を起動した場合は何も表示されません。消去するには [ファイルの履歴のクリア] を選択します。

# 編集メニュー

## ■ 元に戻す

今まで行った編集作業を取り消して、1つ前の状態へ戻します。この処理は、編集ウインドウまたはレイヤーごとに独立して実行することができます。



ファイルの [保存]、クリップボードへの [コピー]、レイヤーの [追加] / [削除] などの一部機能は、元に戻すことはできません。

## ■ やりなおす

[元に戻す] で取り消した描画編集作業をやりなおします。この処理は編集ウインドウまたはレイヤーごとに独立して実行することができます。

## ■ コピー

編集ウインドウの選択されているレイヤー全体、または [領域ツール] (P. 47) で領域を選択している場合には選択領域内の画像データをクリップボードへコピーします。クリップボードへコピーされた画像は、Photo Creator で [貼り付け] したり、他のアプリケーションソフトで貼り付けしたりすることができます。



選択した領域が長方形以外の円や多角形などの場合は、その形状でコピーします。Photo Creator のみ、円や多角形などの形状を保って貼り付けることができます。しかし、他のアプリケーションソフトの場合は、円や多角形などの形状は保たれず、長方形でしか貼り付けることができません。



## ■ 貼り付け

クリップボードへコピーされた画像を貼り付けます。クリップボードに画像データがない場合、この機能は使用できません。Photo Creatorでコピーした画像の以外にも、他のアプリケーションソフトでコピーした画像も貼り付けることができます。

貼り付けを実行すると、クリップボードにある画像データが編集ウィンドウ上に表示されます。ポイントをドラッグすると貼り付けの大きさを変更できます。キーボードの [Shift] を押しながらドラッグすると元画像の縦横比を維持したまま拡大縮小できます。また、枠内をドラッグすると移動できます。貼り付けたい大きさと位置が決まったら、右クリックまたはダブルクリックします。貼り付けメニューから任意のコマンドを選択してください。



貼り付けを実行した画像は、[不透明度] (P.43) の影響を受けます。変更した場合はご注意ください。

### 貼り付けメニュー

このレイヤーに貼り付け	選択中のレイヤーに画像を貼り付けます。レイヤーは増えません。
貼り付け	新規にレイヤーを作成して、画像を貼り付けます。貼り付け後に位置を移動させるには、[レイヤー選択] (P.44) をご覧ください。
拡大 / 縮小	貼り付ける画像を拡大または縮小して貼り付けます。画像の枠の四隅に表示されたポイントをドラッグして拡大 / 縮小します。縦横比を保持したまま大きさを変更するにはキーボードの [Shift] を押しながらドラッグします。
自由変形	貼り付ける画像を自由に変形させて貼り付けます。画像の枠に表示されたポイントをドラッグして変形します。

平行四辺形	貼り付ける画像を平行四辺形に変形させて貼り付けます。画像の枠に表示されたポイントをドラッグすると常に平行四辺形になります。
回転	貼り付ける画像を回転させて貼り付けます。画像の枠内に表示されたポイントをドラッグすると画像が回転します。
元のサイズ	貼り付け先の編集ウィンドウが、コピーした画像より小さい場合、Photo Creator では自動的に縮小して表示します。コピー元の大きさを貼り付けたい場合を選択します。
キャンセル	貼り付けをキャンセルします。

## ■ 切り取り

選択中のレイヤー、および選択領域内の画像データを切り取って削除します。切り取られた部分は透明になります。確認する画面は表示されませんので注意してください。

このとき、切り取られた画像はクリップボードへ [コピー] (P.96) します。

## ■ 素材フォルダ

Photo Creator の素材フォルダにある画像を、編集ウィンドウに貼り付けます。任意の画像を選択して [OK] をクリックします。以降の操作は [貼り付け] (P. 97) と同じです。



ユーザーが任意の画像ファイルを素材として追加登録することができません。Photo Creator がインストールされているフォルダの中にある [material] フォルダへ画像ファイルを保存またはコピーします。なお、素材として追加できるファイルは、Photo Creator で読み込みできるファイル形式 (P. 88) です。

# 領域メニュー

## ■ すべて選択

編集ウィンドウの画像全体を選択します。



Photo Creator では、フィルタやコピーなどは領域が選択されていない場合には自動的に編集ウィンドウ全体に処理がおこなわれます。

## ■ 選択の解除

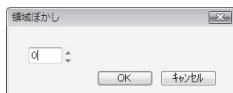
選択されている領域を解除します。

## ■ レイヤーサイズで選択

選択中のレイヤーサイズを領域として選択します。

## ■ 領域ぼかし

オプションバーの [領域ぼかし] (P. 43) をご覧ください。



## ■ トリミング

選択された領域の画像データを新しい編集ウィンドウで開きます。領域が長方形でない場合、余白が作成されます。透明度、レイヤー情報、Exif 情報なども、そのまま継承されます。

## ■ 領域外の表示

領域の選択 / 非選択の区別を、線のみ / チェック / 暗くから選択します。

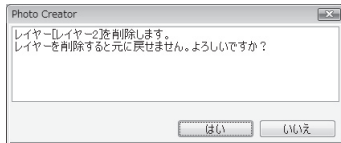
# レイヤーメニュー

## ■ 追加

レイヤーを新たに追加します。追加したレイヤーは、[レイヤーパネル]の[レイヤー一覧](P.81)で確認できます。追加されたレイヤーのサイズは編集ウィンドウと同じサイズになり、追加された直後は透明なレイヤーとなります。

## ■ 削除

選択されているレイヤーを削除します。確認画面が表示されますので、実行するには[はい]ボタンを、中止する場合は[いいえ]をクリックします。



ベースレイヤーを削除することはできません。

## ■ レイヤーオプション

[レイヤーパネル]の[レイヤーオプション](P.84)をご覧ください。

# 画像メニュー

## ■ レイヤーマスク編集

レイヤーマスクとは、レイヤーの画像を消去せずに、表示のみを抑制する特殊なマスクです。レイヤーの一部を透明や半透明にすることができます。[ペイント] セクションの [ケシゴム] (P.70) とは違い、何度でも表示部分の変更が可能です。レイヤーマスク編集で画像を透明にしたものを元に戻すには、[画像] メニューの [クリア] を実行します。

初期状態で、不透明な部分は赤く表示されます。透明にしたい部分を、[ペイント] セクション (P.68) の [ブラシ] や [塗りつぶし] ツールを使って、[カラーパネル] (P.75) で黒を選択して塗ります。灰色で塗ると半透明になります。不透明に戻すには白色で塗ります。

## ■ クリア

選択中のレイヤー全体を削除します。実行すると、ベースレイヤーで不透明な白色に、追加したレイヤーは透明になります。[画像]メニューの [レイヤーマスク編集] 時に実行すると、レイヤーマスクを初期化します。



確認する画面は表示されませんので、操作にはご注意ください。

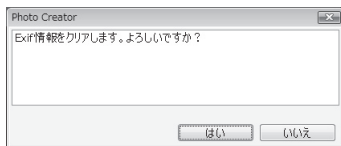
## ■ グラデーション作成

選択中のレイヤーに [カラーパネル] (P.75) で設定した色またはテクスチャで、グラデーションを作成して塗りつぶします。塗りつぶしは、黒い部分に適用され、白い部分ほど描画が抑制します。任意のグラデーションをクリックして選択すると赤い枠で表示されます。二段目のグラデーションを選択した場合、コントロールバーをドラッグして角度を調整できます。グラデーションは濃度 / ランダムから選択します。



## ■ Exif 情報をクリア

画像に含まれる Exif 情報をクリア (削除) します。確認画面が表示されるので、[はい] をクリックすると、Exif 情報をクリアします。[いいえ] をクリックすると、クリアせずに元の編集ウインドウへ戻ります。



Exif 情報の有無は [Exif 情報パネル] (P.86) で確認できます。

## ■ ヒストグラム

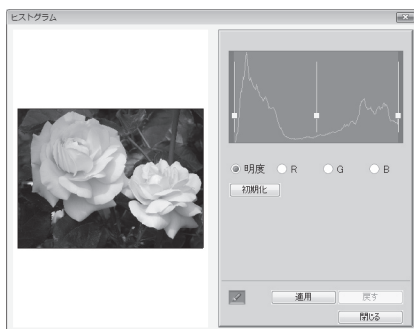
画像の明るさや色を、ヒストグラムと呼ばれる分布図を見ながら補正するツールです。

補正したいチャンネルを明度 / R / G / B から選択すると、そのチャンネルのヒストグラムが表示されます。ヒストグラムの左側が最も暗い部分を指し、右側が最も明るい部分を指します。ヒストグラム内に表示されたポイントをそれぞれドラッグして、画像の補正をします。

左側のポイントを右へドラッグすると、暗い部分が増加し、右側のポイントをドラッグすると、明るい部分が増加します。中央のポイントをドラッグすると、中間の部分が変化します。

補正の結果は左側のプレビュー画面に反映します。ヒストグラムを元に戻すには [初期化] をクリックします。[適用] をクリックすると、選択中のレイヤーおよび選択した領域内の画像にヒストグラムで補正した結果が適用します。[戻す] をクリックすると元に戻ります。

[ペンモード] をクリックすると [ペンモード] (P.46) に切り替わります。[閉じる] をクリックすると、画面を閉じます。



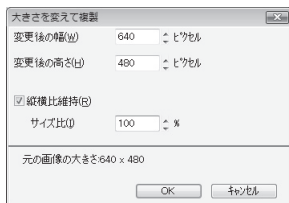


## ■ 複製

現在の編集ウィンドウを複製して、新規編集ウィンドウとして作成します。透明度、レイヤー情報、Exif 情報もそのまま継承されます。

## ■ 大きさを変えて複製

現在の編集ウィンドウの画像サイズを変えて、新規編集ウィンドウとして作成します。変更後の画像サイズを、幅と高さ（ピクセル）、またはサイズ比（%）で指定します。[縦横比維持] にチェックを入れると、縦横比を固定したままサイズを変更します。透明度、レイヤー情報、Exif 情報もそのまま継承されます。



## ■ 上下反転して複製

編集ウィンドウ全体を上下に反転して、新規編集ウィンドウとして作成します。

## ■ 左右反転して複製

編集ウィンドウ全体を左右に反転して、新規編集ウィンドウとして作成します。

# 表示メニュー

## ■ カラー

[カラーパネル] (P. 75) の表示 / 非表示の切り替えを行います。

## ■ ブラシ

[ブラシパネル] (P. 79) の表示 / 非表示の切り替えを行います。

## ■ レイヤー

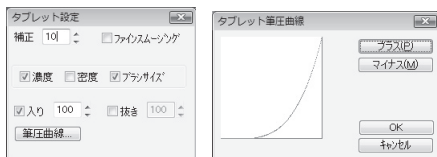
[レイヤーパネル] (P. 81) の表示 / 非表示の切り替えを行います。

## ■ Exif 情報

[Exif 情報パネル] (P. 86) の表示 / 非表示の切り替えを行います。

## ■ タブレット設定

Photo Creator が対応しているタブレットの設定をします。[補正] はドラッグ中に補間する座標レベルの設定です。通常は変更する必要はありませんが、動作が遅いと感じる場合に数値を低くします。[濃度]、[密度]、[ブラシサイズ] のチェックを入れると筆圧に応じて変化します。[入り]、[抜き] のチェックを入れるとタブレットの書き始めと書き終わりの具合を調整できます。[筆圧曲線] は筆圧感度の設定です。プラス側にするると柔らかいタッチに、マイナス側にするると硬いタッチになります。



## ■ ズームイン

編集ウィンドウを一段階拡大して表示します。使用できる表示倍率の中から変化していきます。リスト編集で変更することで表示倍率は変わります。

## ■ ズームアウト

編集ウィンドウを一段階縮小して表示します。使用できる表示倍率の中から変化していきます。リスト編集で変更することで表示倍率は変わります。

## ■ ズーム

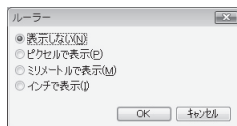
画像の表示倍率を設定します。100%で実寸表示となります。また、ステータスバーの左側にあるズームボタンをクリックしても、拡大率を変更することができます。

## ■ 座標表示

マウスポインタの位置を表示します。座標はステータスバーの左側に表示され、クリックで表示 / 非表示を切り替えることができます。

## ■ ルーラー

編集ウィンドウの上辺と左辺へ、ルーラー（定規）とマウス位置の表示 / 非表示を切り替えます。ルーラーの表示単位は、ピクセル / ミリメートル / インチから選択します。



## ■ 選択したレイヤーのみ明るく表示

選択したレイヤーの外側を暗く表示するかを切り替えます。編集ウィンドウより小さいレイヤーや、レイヤーを移動したときなど、レイヤーのサイズや位置を確認するのに便利な機能です。

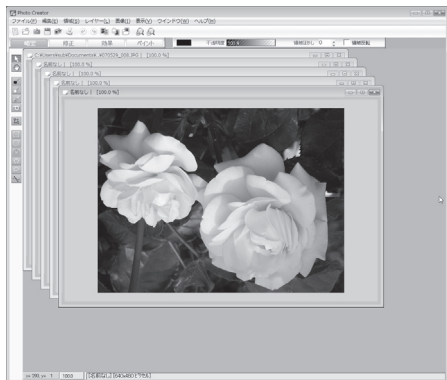
# ウインドウメニュー

## ■ ウィンドウサイズの調整

編集している画像の大きさに合わせてウィンドウサイズを調整します。

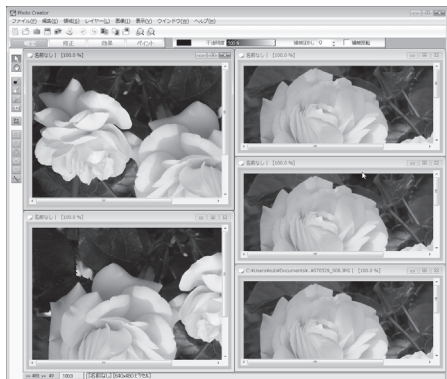
## ■ 重ねて表示

複数の編集ウィンドウを開いている場合、カスケード状に重ねて表示します。



## ■ 並べて表示

複数の編集ウィンドウを開いている場合、タイル状に並べて表示します。



## ■ 最小化ウィンドウの整列

最小化してある編集ウィンドウのみを整列します。最小化していない編集ウィンドウは整列されません。最小化した編集ウィンドウがない場合は選択できません。

## ■ すべて閉じる

Photo Creator は終了せず、表示されている編集ウィンドウを全て閉じます。保存していない画像がある場合、保存を確認する画面が表示されます。[はい] をクリックすると、保存してから編集ウィンドウを閉じます。[いいえ] をクリックすると、保存しないで編集ウィンドウを閉じます。[キャンセル] をクリックすると、元の編集ウィンドウへ戻ります。

## ■ 編集中のウィンドウ

現在、Photo Creator で開いているファイル名を一覧で表示します。一覧からファイル名を選択すると、編集ウィンドウを切り替えて手前に表示します。

# ヘルプメニュー

---

## ■ ヘルプ

ヘルプファイルを表示します。HTML形式のヘルプファイルです。

## ■ サポートページへ

Photo Creator の [サポートページ] へ接続します。ブラウザ起動後は画面の指示にしたがってください。



サポートページへ接続するには、お使いのパソコンがインターネットに接続できる環境が必要です。

## ■ バージョン情報

ご利用になられている Photo Creator のバージョン情報を表示します。バージョン情報をクリックすると、元の編集ウインドウへ戻ります。

# 索引

## 数字

3D 効果 ..... 65

## アルファベット

### E

Exif 情報 ..... 106

Exif 情報パネル ..... 86

Exif 情報をクリア ..... 103

### H

HSV ..... 75

### I

ICM ..... 94

### R

RGB ..... 75

### T

TWAIN / WIA 対応機器 ..... 92

## かな

### あ

赤目補正 ..... 63

アンインストール ..... 11

暗室 ..... 51

色温度 ..... 53

色の管理 ..... 94

印刷 ..... 92

インストール ..... 8

ウインドウサイズの調整 ... 108

ウインドウメニュー ..... 108

エフェクト ..... 65

円 ..... 71

覆い焼き ..... 52

大きさを変えて複製 ..... 105

### か

カーブ ..... 58

回転 ..... 57

重ねて表示 ..... 108

画像の合成 ..... 66

画像メニュー ..... 102

カメラ効果 ..... 54

画面構成 ..... 16

カラー	106
カラーパネル	75
環境設定	94
起動	14
切り取り	98
グラデーション作成	103
クリア	102
クリップボードから開く	90
クローンブラシ	34, 57
ケシゴム	70
効果	64
合成	35
合成方法	85
こする	69
コピー	96

## さ

最小化ウィンドウの整列	109
削除	101
座標表示	107
サポートページへ	110
左右反転して複製	105
色調補正	29, 60
自動色補正	28, 59
修正	56
終了	15, 95
上下反転して複製	105
新規作成	87
ズーム	107

ズームアウト	107
ズームイン	107
スタンプ	78
すべて選択	100
すべて閉じる	109
すべての編集を取り消す	92
スポイト	70
選択したレイヤーのみ 明るく表示	107
選択の解除	100
選択レイヤー	81
線の太さ、形状	80
素材フォルダ	99

## た

対応ファイル一覧	88
多角形	71
タブレット設定	106
長方形	71
直線	70
追加	101
テキストチャ	76
デジタルカメラから入力	21, 92
手のひら	46
トーンカーブ	62
閉じる	92
トリミング	33, 55, 100



## な

名前をつけて保存	91
並べて表示	109
塗りつぶし	
[円]	72
[多角形]	72
[長方形]	72
[平行四辺形]	72

## は

バージョン情報	110
バランス	58
貼り付け	97
貼り付けメニュー	74
パレット	76
ヒストグラム	104
ピッカー	75
表示順位	82
表示メニュー	106
開く	19, 88
ファイル	88
ファイル一覧	90
ファイルの履歴	95
ファイル名ヒストリのクリア	95
ファイルメニュー	87
フォーカス	61
複製	105
不透明度	43

ブラシ	69, 106
ブラシパネル	79
ブラシパレット	79
平行四辺形	71
ペイント	68
ヘルプ	110
ヘルプメニュー	110
変形補正	59
編集中のウインドウ	109
編集メニュー	96
ペンモード	31, 46, 60, 61, 62
ぼかし	69
補正量	58
保存	91

## ま

文字	73
元に戻す	96

## や

焼き込み	53
やりなおす	96
ユーザーサポート	13

## ら

領域	
[円]	48
[円グラデーション]	48
[多角形]	49
[長方形]	48

[ベジエ曲線] .....	50
[マジックワンド] .....	49
領域外の表示 .....	100
領域ツール .....	47
領域反転 .....	43
領域ぼかし .....	43, 100
領域メニュー .....	100
ルーラー .....	107
レイヤー .....	106
レイヤー一覧 .....	81
レイヤーオプション .....	45, 84, 101
レイヤー合成方法 .....	85
レイヤーサイズで選択 .....	100
レイヤー設定メニュー .....	45
レイヤー選択 .....	44
レイヤーの削除 .....	83
レイヤーの追加 .....	83
レイヤーの表示 / 非表示 .....	83
レイヤーパネル .....	81
レイヤーマスク編集 .....	102
レイヤーマニュー .....	101
レインボーブラシ .....	69
レンズ補正 .....	58



# Photo Creator 操作説明書

2007年12月初版

発売元：MyAlbum 株式会社

開発元：MyAlbum 株式会社

Printed in Japan.

乱丁落本はお取り替えいたします。

本書の一部、あるいは全部について、弊社から文書による承諾を得ずに、いかなる方法においても、無断で複写、複製することは禁じられています。